



中島 正愛 教授

(2017年4月 京都大学名誉教授)

## 中島 正愛 教授 略歴

昭和	50年	3月	京都大学工学部建築学科 卒業
	52年	3月	京都大学大学院工学研究科建築学専攻II 修了(工修)
	56年	5月	米国ペンシルバニア州リーハイ大学大学院土木工学専攻博士課程 修了(Ph.D.)
	62年	10月	建設省建築研究所 研究員
	62年	4月	建設省建築研究所 主任研究員
	63年	4月	神戸大学工学部 助教授
平成	4年	4月	京都大学防災研究所 助教授
	12年	4月	京都大学防災研究所 教授
	16年	10月	(独)防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター センター長(兼務 23年3月まで)
	23年	4月	京都大学防災研究所 所長(併任 平成25年3月まで)
平成	2年	7月	米国スタンフォード大学 客員研究員(平成2年8月まで)
	9年	2月	米国カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員(平成6年12月まで)
	11年	5月	イタリア共和国パビア大学 客員教授
	24年	5月	中国清華大学土木工学科 講席教授
	26年	11月	中国東南大学土木工学科 客員教授

### (受賞等歴)(国内)

平成	3年	日本建築学会奨励賞(論文)
	9年	日本建築学会賞(論文)
	11年	日本鋼構造協会奨励賞(論文)
	12年	日本鋼構造協会論文賞
	16年	日本鋼構造協会論文賞
	18年	ナイスステップな研究者(科学技術への顕著な貢献2006) 文部科学省科学技術政策研究所
	20年	日経BP技術賞(建設部門)
	22年	兵庫県功労者表彰(防災・消防功労)
	25年	防災功労者防災担当大臣表彰

### (受賞等歴)(国外)

12年	The Moisseiff Award, 米国土木学会(ASCE)
21年	Special Achievement Award, 米国鋼構造協会(AISC)
25年	Ernest E. Howard Award, 米国土木学会(ASCE)
26年	George W. Housner Medal, 米国地震工学会(EERI)
27年	Foreign Member, 米国工学アカデミー(NAE)
28年	Corresponding Member, メキシコ工学アカデミー

(学会・委員等歴)

平成	2年	日本建築学会 鋼構造限界状態設計法小委員会委員 (平成5年まで)
	3年	(財)建築技術教育普及センター 一級建築士試験問題作成委員会委員 (平成5年まで)
	4年	日本建築学会 SRC造限界状態設計法小委員会委員 (平成8年まで)
	5年	日本建築学会 鋼構造設計体系小委員会委員 (平成10年まで)
	5年	(財)日本建築総合試験所 建築技術安全審査会委員 (平成15年まで)
	8年	日本建築学会 鋼構造座屈小委員会委員 (平成13年まで)
	8年	日本建築学会 鋼構造運営委員会委員・幹事 (平成13年まで)
	8年	日本建築学会 接合小委員会委員 (平成9年まで)
	8年	(財)日本建築センター 免震構造評定委員会委員 (平成12年まで)
	9年	日本建築学会 鋼構造接合小委員会委員 (平成13年まで)
	9年	日本建築学会 論文集委員会委員・部門幹事 (平成10年まで)
	9年	日本建築学会 構造工学論文集編集小委員会幹事 (平成11年まで)
	10年	日本建築学会 災害本委員会幹事 (平成15年まで)
	11年	日本建築学会 第1期代議員 (平成14年まで)
	12年	日本学術会議 第18期メカニクス・構造研究連絡委員会委員 (平成15年まで)
	12年	日本鋼構造協会 鋼構造論文集委員会委員長 (平成14年まで)
	12年	日本鋼構造協会 表彰選考委員会委員 (平成14年まで)
	12年	国土交通省 国土総合技術研究所 建築構造基準委員会委員 (平成29年まで)
	12年	(財)日本建築総合試験所 性能評価委員会 (高層構造部会) 委員 (平成17年まで)
	12年	(財)日本建築総合試験所 性能評価委員会 (免震構造部会) 委員 (平成17年まで)
	13年	日本建築学会 鋼構造運営委員会委員 (平成17年まで)
	13年	日本建築学会 鋼構造接合小委員会主査 (平成17年まで)
	13年	日本地震工学会 理事 (平成15年まで)
	14年	日本建築学会 建築教育認定事業委員会 建築分野審査委員会委員長 (平成18年まで)
	14年	日本技術者認定機構 認定・審査調整委員会委員 (平成18年まで)
	15年	日本建築学会 論文集委員会委員・部門幹事 (平成17年まで)
	15年	日本学術会議 第19期メカニクス・構造研究連絡委員会委員 (平成18年まで)
	15年	日本技術者認定機構 認定委員会委員 (平成18年まで)
	15年	内閣府 政策参与 (平成26年まで)

- 15年 文部科学省 科学技術・学術審議会 研究基盤部会（平成29年まで）
- 15年 国土交通省 社会資本整備審議会・建築分科会臨時委員（平成29年まで）
- 17年 Editor, Editorial Board : Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics (EESD), Wiley
- 17年 日本建築学会 建築教育本委員会委員(平成19年まで)
- 17年 日本建築学会 構造本委員会委員(平成21年まで)
- 17年 日本建築学会 鋼構造運営委員会主査(平成21年まで)
- 17年 日本自然災害学会 評議員（平成19年まで）
- 18年 日本建築学会 建築教育認定事業委員会 建築分野審査委員会委員(平成25年まで)
- 19年 日本建築学会 副会長(平成21年まで)
- 19年 日本建築学会 支部長会議議長（平成21年まで）
- 19年 日本建築学会 学術レビュー委員会委員長（平成21年まで）
- 19年 日本建築学会 学術推進委員会副委員長（平成21年まで）
- 19年 日本建築学会 日本建築学会文化賞選考委員会委員（平成21年まで）
- 19年 日本建築学会 構造本委員会 高機能社会耐震工学WG主査（平成21年まで）
- 19年 日本鋼構造協会 運営委員会委員（平成21年まで）
- 19年 震災予防協会 評議員（平成22年まで）
- 20年 Member, Editorial Board : Journal of Constructional Steel Research, Elsevier
- 20年 Member, Editorial Board : Earthquake Spectra Earthquake Engineering Research Institute (EERI)(平成25年まで)
- 21年 日本建築学会 鋼構造運営委員会委員(平成26年まで)
- 21年 日本建築学会 日本建築学会教育賞選考委員会委員（平成23年まで）
- 21年 日本建築学会 構造委員会委員長（平成25年まで）
- 21年 日本地震工学会 副会長（平成23年まで）
- 21年 厚生労働省 大阪労働局計画局局長審査委員（平成23年まで）
- 22年 総務省 大規模災害時の非常用通信手段の在り方に関する研究会構成員（平成29年まで）
- 23年 日本建築学会 東日本大震災調査復興支援本部委員（平成25年まで）
- 23年 日本建築学会 東日本大震災調査復興支援本部 研究・提言部会部会長（平成25年まで）
- 23年 日本学術会議 連携会員（平成29年まで）
- 24年 日本工学会フェロー（現在まで）
- 24年 日本工学アカデミー会員（現在まで）
- 24年 文部科学省 地震調査研究推進本部 政策委員会委員長（平成29年まで）
- 25年 日本建築学会 日本建築学会賞選考委員会 論文部会委員・幹事（平成27年まで）

- 26年 日本建築学会 第15期代議員（平成28年まで）
- 26年 内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）：レジリエントな防災・減災機能の強化 プログラムディレクター（平成29年まで）
- 26年 （財）日本建築総合試験所 建築構造性能評価委員会委員（平成29年まで）
- 27年 日本建築学会 会長（平成29年まで）
- 27年 日本建築学会表彰委員会委員長（平成29年まで）
- 27年 日本建築学会文化賞選考委員会委員長（平成29年まで）
- 27年 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 次世代インフラ戦略協議会委員（平成29年まで）
- 27年 （財）建築技術教育普及センター 理事（平成29年まで）

中島 正愛 教授 研究業績

論文(査読論文)

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1983	Post-Buckling Instability of Steel Beam-Columns	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.109, No.ST6, June 1983, pp.1414-1430	Nakamura, T., Wakabayashi, M.
1983	Experimental Study of Beam-Supported Slabs under In-Plane Loading	ACI Journal, Vol.79, No.1, January/February 1983, pp.59-65	Huang, T., Lu, L. W.
1985	Part 1, Relationship between Integration Time Interval and Response Stability in Pseudo Dynamic Testing, (Stability and Accuracy Behavior of Pseudo Dynamic Response)	日本建築学会構造系論文報告集, 第353号, 1985年7月, pp.29-36	
1985	Part 2, Relationship Between Integration Time Interval and Accuracy of Displacement, Velocity and Acceleration Responses in Pseudo Dynamic Testing, (Stability and Accuracy Behavior of Pseudo Dynamic Response)	日本建築学会構造系論文報告集, 第358号, 1985年12月, pp.35-42	
1986	振動台実験と仮動的実験による鉄骨骨組の地震応答(仮動的実験手法による実験時応答再現法)	日本建築学会構造系論文報告集, 第364号, 1986年6月, pp.23-32	山崎裕
1986	仮動的実験による地震時応答の精度(仮動的実験手法による地震時応答再現性)	日本建築学会構造系論文報告集, 第370号, 1986年12月, pp.40-49	山崎裕
1988	Japanese Activities on On-line Testing	Journal of Engineering Mechanics, ASCE, Vol.113, No.7, July 1987, pp.1014-1032	Takanashi, K.
1988	Part 3, Experimental Error Growth of Pseudo Dynamic Testing (Stability and Accuracy Behavior of Pseudo Dynamic Response)	Part 3, Experimental Error Growth of Pseudo Dynamic Testing (Stability and Accuracy Behavior of Pseudo Dynamic Response)	Kato, H.
1988	On-Line Computer Test Control Method and its Application to Earthquake Response Simulation of Steel Structural Models	Journal of Constructional Steel Research, Vol.11, November 1988, pp.27-40	Takanashi, K.
1989	Part 4, Control of Experimental Error Growth of Pseudo Dynamic Testing (Stability and Accuracy Behavior of Pseudo Dynamic Response)	日本建築学会構造系論文報告集, 第401号, 1989年7月, pp.129-138	Kato, H.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1989	Reliability of Pseudo Dynamic Test in Earthquake Response Simulation	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.115, No.8, August 1989, pp.2098-2112	Yamazaki, Y., Kaminosono, T.
1990	Test of Steel Beam-Columns Subject to Sidesway	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.116, No.9, September 1990, pp.2516-2531	Takanashi, K., Kato, H.
1990	サブストラクチャ仮動的実験のための数値積分法(サブストラクチャ法を用いた仮動的実験の開発)	日本建築学会構造系論文報告集, 第417号, 1990年11月, pp.107-117	石田雅利, 安藤和博
1990	鉄骨柱材の耐力特性	日本建築学会構造系論文報告集, 第418号, 1990年12月, pp.59-69	森野捷輔, 古場覚司
1991	Statistical Evaluation of Strength of Steel Beam-Columns	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.117, No.11, November 1991, pp.3375-3395. (2)	M., Morino, S., Koba, S.
1991	Sulla Sperimentazione Pseudodinamica di Strutture in Muratura	Ingegneria Sismica, Vol.VIII, No.3, December 1991, pp.3-16 (in Italian)	Calvi, G. M.
1992	Development of Real-Time Pseudo Dynamic Testing	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.21, No.1, 1992, pp.79-92. (6)	Kato, H., Takaoka, E.
1992	鉄骨高層建物の固有周期の簡易予測	構造工学論文集, Vol.38B, 1992年3月, pp.137-144	柳尚孝, 細辻順子
1992	高性能60キ口鋼を用いた鉄骨筋違の復元力特性	日本建築学会構造系論文報告集, 第437号, 1992年7月, pp.105-113	辻文三, 西野孝仁, 芦沢知樹
1993	実験誤差制御機能を有したサブストラクチャ仮動的実験のための数値積分法	日本建築学会構造系論文報告集, 第454号, 1993年12月, pp.61-71. (5)	赤沢隆士, 阪口理
1994	オブジェクト指向型データベースを用いた構造実験情報の管理・保存	構造工学論文集, Vol.40B, 1994年3月, pp.253-259	大谷康二, 辻文三
1994	Variation of Ductility Capacity of Steel Beam-Columns	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.120, No.7, July 1994, pp.1941-1960	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1994	Energy Dissipation Behavior of Shear Panels Made of Low-Yield Stress Steel	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.23, No.12, 1994, pp.1299-1313	
1995	Damage to Engineered Buildings from the 1995 Hyogo-ken-Nanbu Earthquake	Journal of Natural Disaster Science, Vol.16, No.2, June 1995, pp.71-78	
1995	Overview of Building Damage and Damage to Wood Houses from the 1995 Hyogoken-Nanbu Earthquake	Journal of Natural Disaster Science, Vol.16, No.2, June 1995, pp.72-87	Suzuki, Y., Fujiwara, T., et al
1995	Pseudo Dynamic Testing Using Conventional Testing Devices	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, John Wiley & Sons Ltd., Vol.24, No.10, October 1995, pp.1409-1422	Akazawa, T., Igarashi, H.
1995	Strain-Hardening Behavior of Shear Panels Made of Low Yield Steel, II: Model	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.121, No.12, December 1995, pp.1750-1757	Akazawa, T., Tsuji, B.
1995	Strain-Hardening Behavior of Shear Panels Made of Low Yield Steel, I: Test	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.121, No.12, December 1995, pp.1742-1749	
1996	Application of Pseudodynamic Test Method to Structural Research	Earthquake Spectra, Earthquake Engineering Research Institute, Vol.12, No.1, February 1996, pp.29-56	Shing, P. B., Bursi, O. S.
1996	第二剛性の高いパイリニア系のエネルギー入力・消費特性	構造工学論文集, Vol.42B, 1996年4月, pp.59-68	三谷貴志, 辻文三
1996	Energy Input and Dissipation Behaviour of Structures with Hysteretic Dampers	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.25, 1996, pp.483-496	Saburi, K., Tsuji, B.
1996	Seismic Design of Steel Buildings: Lessons from the 1995 Hyogo-ken Nanbu Earthquake	Canadian Journal of Civil Engineering, Vol.23, No.3, June 1996, pp.727-756	Tremblay, R., Bruneau, M., Prion, H. G. L., Filiatrault, A., DeVall, R.
1996	履歴型ダンパーを用いた架構の地震応答と設計耐力	日本鋼構造協会論文集, 第3巻, 11号, 1996年9月, pp.65-77	井上一朗, 桑原進, 多田元英



発表年	論文名	発表誌名	共著者
1997	梁破断を考慮した鉄骨平面骨組の挙動と信頼性評価	日本建築学会構造系論文報告集, 第493号, 1997年3月, pp.99-106	日下彰宏, 野中泰二郎
1997	構造物に要求される消費エネルギーに対して構造各部材に要求される塑性変形量とそのばらつきの評価法	本建築学会構造系論文報告集, 第494号, 1997年4月, pp.99-105	吉良圭史, 辻文三
1997	通しダイアフラム形式で角形鋼管柱に接合されるH形鋼梁の塑性変形能力に関する実大実験 (その1: 実験計画および予備実験)	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第4巻, 16号, 1997年12月, pp.27-42	井上一郎
1997	通しダイアフラム形式で角形鋼管柱に接合されるH形鋼梁の塑性変形能力に関する実大実験 (その3: 工場溶接形式 (梁: H-600x250x12x25 試験体に対する実験))	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第4巻, 16号, 1997年12月, pp.59-74	
1997	通しダイアフラム形式で角形鋼管柱に接合されるH形鋼梁の塑性変形能力に関する実大実験 (その5: 破壊特性と塑性変形能力の総合考察)	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第4巻, 16号, 1997年12月, pp.89-104	井上一郎他
1998	Classification of Damage to Steel Buildings Observed in the 1995 Hyogoken-Nanbu Earthquake	Engineering Structures, Vol.20, No.4-6, April 1998, pp.271-281	Inoue, K., Tada, M.
1998	Tests of Welded Beam-Column Subassemblies II: Detailed Behavior	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.124, No.11, 1998, pp.1245-1252. (1)	Suita, K., Morisako, K.
1998	Tests of Welded Beam-Column Subassemblies I: Global Behavior	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.124, No.11, 1998, pp.1236-1244	
1999	Real-time Online Test for MDOF Systems	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.28, No.4, April 1999, pp.393-420	Masaoka, N.
1999	鉄骨骨組の地震応答に及ぼす柱梁耐力比の影響 (その2: 柱の塑性化を許す骨組の地震応答)	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第6巻, 23号, 1999年9月, pp.133-148	澤泉紳一
1999	鉄骨骨組の地震応答に及ぼす柱梁耐力比の影響 (その1: 梁崩壊機構を形成するために必要な柱梁耐力比)	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第6巻, 23号, 1999年9月, pp.117-132	澤泉紳一
1999	ノンスラップ工法とRBS工法による柱梁接合部の塑性変形能力 - 改良型溶接柱梁接合部の実大実験 - その1 -	日本建築学会構造系論文報告集, 第526号, 1999年12月, pp.177-184	吹田啓一郎, 田村匠, 森田周平, Engelhardt, M. D.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2000	Moment Redistribution Caused by Beam Fracture in Steel Moment Frames	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.126, No.1, January 2000, pp.137-144	Minami, T., Mitani, I.
2000	The 1995 Hyogoken-Nanbu Earthquake as a Trigger for the Implementation of New Seismic Design Technologies in Japan	Lessons Learned Over Time, Learning From Earthquake Series, Vol III, Earthquake Engineering Research Institute, April 2000, pp.79-109	Clark, W. P., Aiken, I. D., M. Miyazaki, M. Midorikawa
2000	損傷に寄与する地震入力エネルギーに関する考察	日本建築学会構造系論文報告集, 第530号, 2000年4月, pp.177-184	小川厚治, 井上一朗
2000	Steel Moment Frames for Earthquakes in the United States and Japan	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.126, No.8, August 2000, pp.861-868	Roeder, C. W., Maruoka, Y.
2000	梁降伏型頂構造ラーメン部材の必要塑性変形性能に関する研究	日本建築学会構造系論文報告集, 第537号, 2000年11月, pp.121-128	小川厚治, 井上一朗, 澤泉紳一
2001	実構造物の地震時挙動を再現する実台振動台実験手法の提案, 制振ダンパーを組み込んだ鋼構造骨組の耐震性その1	日本建築学会構造系論文報告集, 第541号, 2001年3月, pp.179-186	山口路夫, 山田哲, 前田泰史, 荻原みき, 竹内徹, 成川匡文, 和田章
2001	繰り返し荷重を受けるH形鋼梁の横座屈挙動と座屈補剛	日本建築学会構造系論文報告集, 第544号, 2001年6月, pp.147-154	金尾伊織, 劉大偉
2001	Development, Potential, and Limitations of Real-Time Online (Pseudodynamic) Test	Philosophical Transactions of the Royal Society, No.359, September 2001, pp.1851-1867	
2001	構造建築の耐震設計に関する日米比較(モーメント骨組と筋違い骨組の分類と地震荷重)	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第8巻, 31号, 2001年9月, pp.129-143	多田元英, 福井智規, Charles W. Roeder
2001	振動台実験による部分骨組の耐震性能評価 - 制振ダンパーを組み込んだ鋼構造骨組の耐震性その2	日本建築学会構造系論文報告集, 第547号, 2001年9月, pp.153-160	山口路夫, 山田哲, 前田泰史, 荻原みき, 竹内徹, 成川匡文, 和田章
2002	Generic Frame model for Simulation of Earthquake Responses of Steel Moment Frames	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.31, No.3, March 2002, pp.671-692	Ogawa, K., Inoue, K.
2002	繰り返し荷重を受ける鋼標準梁・RBS梁の必要横補剛条件	日本建築学会構造系論文報告集, 第556号, 2002年6月, pp.131-137	金尾伊織, 劉大偉

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2002	Lateral Instability and Lateral Bracing of Steel Beams Subjected to Cyclic Loading	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.128, No.10, October 2002, pp.1308-1316	Kanao, I., Liu D.
2003	Behavior to Complete Failure of Steel Beams Subjected to Cyclic Loading	Journal of Engineering Structures, Vol.25, March 2003, pp.525-535	Liu, D., Kanao, I.
2003	繰返し荷重を受けるH形鋼梁の塑性変形能力に及ぼす局部座屈の影響	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第10巻, 37号, 2003年3月, pp.61-70	劉大偉, 金尾伊織
2003	建築鉄骨工事検査技術の現状と問題	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 第10巻, 37号, 2003年3月, pp.15-29.	川口淳, 桑原進
2003	Comparison of Strength Capacity for Steel Building Structures in the United States and Japan	International Journal of Earthquake Engineering and Engineering Seismology, Chinese Taiwan Society for Earthquake Engineering Vol.4, No.1, September 2003, pp37-50	Tada, M., Fukui, T., Roeder, C. W.
2003	A Partial View on Japanese Post-Kobe Seismic Design and Construction Practices	International Journal of Earthquake Engineering and Engineering Seismology, Chinese Taiwan Society for Earthquake Engineering, Vol.4, No.1, September 2003, pp3-14.	Chusilp, P.
2003	Lateral-Torsional and Local Instability of Steel Beams Subjected to large Cyclic Loading	Journal of Steel Structures, Korean Society of Steel Construction, Vol.3, No.3, September 2003, pp.179-189	Liu, D., Kanao, I.
2003	Evaluation of Predictors of Nonlinear Seismic Demands using “Fishbone” Models of SMRF Systems	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.32, November 2003, pp.2267-2288	Luco, N., Mori, Y., Funahashi, Y., Cornell, C. A.
2004	座屈・破断を考慮したブレース付骨組モデルと断層近傍強震動下の応答	日本建築学会構造系論文集, 第577号, 2004年3月, pp.117-122	金尾伊織, 竹原創平
2004	降伏後のモード形を考慮した鋼構造骨組の変位応答評価法	構造工学論文集, 日本建築学会, 2004年4月, pp.425-434	森保宏, 山中貴史
2004	Effects of Vertical Ground Motions on Response of Base-Isolated Structures	構造工学論文集, Vol.50B, 日本建築学会, 2004年4月, pp.572-585	Pan, P., Tada, M.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2004	ALC版が構造性能に及ぼす影響 - 実大3層鋼構造骨組を用いた耐震性能実証実験 -	日本建築学会構造系論文集, 第581号, 2004年7月, pp.135-141	松宮智央, 吹田啓一郎, 劉大偉, 井上真木, 竹原創平
2004	方杖ダンパーにより接合された鋼梁の横座屈挙動と必要横補剛	日本建築学会構造系論文集, 585号, 2004年11月, pp.185-192	竹内一郎, 金尾伊織, 吹田啓一郎
2004	混合・変換制御を用いたサブストラクチャ・オンライン応答実験	日本建築学会構造系論文集, 585号, 2004年11月, pp.85-92	友藤洋, Pan Peng, 劉大偉
2004	実大鋼構造ラーメンの繰返し載荷挙動に対して弾塑性数値解析がもつ予測精度 - 実大3層鋼構造骨組を用いた耐震性能実証実験 -	日本建築学会構造系論文集, 585号, 2004年11月, pp.215-221	松宮智央, 吹田啓一郎, 劉大偉, 周鋒, 福本直晃
2004	Collaboration between Practice and Research for Development of Steel Construction in Japan	Journal of Steel Structures, Korean Society of Steel Construction, Vol.4, No.4, December 2004, pp.249-262	Kato, M., Okazaki, T.
2004	Research and Application of Buckling-Restrained Braced Frames	Journal of Steel Structures, Korean Society of Steel Construction, Vol.4, No.4, December 2004, pp.301-313	Uang, C. M., Tsai, K. C.
2005	遊隙連結系の等価線形化と応答制御への適用	日本建築学会構造系論文集, 587号, 2005年1月, pp.61-68	諸岡繁洋, 篠原達巳, 御澤昇明
2005	Base-Isolation Design Practice in Japan: Introduction to the Post-Kobe Approach	Journal of Earthquake Engineering, Vol. 9, No. 1, January 2005, 147-171	Pan, P., Zamfirescu, D., Nakashima, M., Nakayasu, N., Kashiwa, H.
2005	鋼構造建築における耐震設計基準の日米比較	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 12巻, 45号, 2005年3月, pp.1-7	吹田啓一郎
2005	耐震設計規定と耐震性能評価の実践に関する日米比較	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 12巻, 45号, 2005年3月, pp.71-86	加登美喜子, 日下彰宏
2005	Comparison of European and Japanese seismic design of steel building structures	Journal of Engineering Structures, Vol.26, No.6, pp.827-840	Marino, E., Mosalam, K.
2005	過大地震下における免震建物の応答と損傷特性	構造工学論文集, Vol.51B, pp.237-246	柏尚稔, 中安誠明
2005	Online Hybrid Test Combined with General-Purpose Finite Element Program	構造工学論文集, Vol.51B, 日本建築学会, pp.261-268	Wang, T., Pan, P., Tomofuji, H., Ohsaki, M.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2005	Instability and Complete Failure of Steel Columns Subjected to Cyclic Loading	Journal of Engineering Mechanics, ASCE, Vol.131, No.6, June 2005, pp.559-567	
2005	Online Test Using Displacement-Force Mixed Control	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.34, No.8, June 2005, pp.869-888	Pan, P., Tomofuji, H.
2005	梁の損傷特性と床スラブとの合成効果 - 実大3層鋼構造骨組を用いた耐震性能実証実験 -	日本建築学会構造系論文集, 593号, 2005年7月, pp.177-184	松宮智央, 吹田啓一郎, 佐藤有希
2005	Online Hybrid Test by Internet Linkage of Distributed Test-Analysis Domain	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.34, No.11, pp.1407-1425	Pan, P., Tada, M.
2005	大変形繰返し載荷下における鋼梁の履歴特性に及ぼすRC床スラブの影響 - RC床スラブ付き鋼構造部分構造実大実験	日本建築学会構造系論文集, 第598号, 2005年12月, pp.141-148	松宮智央, 吹田啓一郎, 劉大偉, 周鋒, 溝淵裕也
2005	固定柱脚を想定した角形鋼管柱の大変形繰返し載荷実験	日本建築学会構造系論文集, 第598号, 2005年12月, pp.149-154	倉田真宏, 吹田啓一郎
2005	張富明氏の討論に対する回答 - 遊隙連結系の等価線形化と応答制御への適用	日本建築学会構造系論文集, 598号, 2005年12月, pp.171-172	諸岡繁洋, 篠原達巳, 御澤昇明
2006	Effect of Column Base Behavior on the Seismic Response of Steel Moment Frames	Journal of Earthquake Engineering Vol. 9, Special Issue 2, January 2006, pp.415-438	Kurata. M., Suita, K.
2006	Test on Full-Scale Three-Story Steel Moment Frames and Assessment of Numerical Analysis to Trace Inelastic Cyclic Behavior	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.35, No.1, January 2006, pp.3-19	Matsumiya, T., Suita, K., Liu. D.
2006	Seismic Performance and New Design Procedure for Chevron Braced Frames	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.35, No.4, May 2006, pp.433-452	Marino, E.
2006	Simplified Methods for Design of Base-Isolated Structures in the Long-Period High-Damping Range	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.35, No.4, March 2006, pp.497-515	Weitzmann, R., Ohsaki, M.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2006	ソケット通信と分散処理を用いたオンライン応答実験システムの構築	日本建築学会構造系論文集, 第603号, 2006年5月, pp.31-37	友藤洋, 潘鵬, 王涛, 吉竹宣也, 中島正愛, 大崎純
2006	Development of Peer-to-Peer (P2P) Internet Online Hybrid Test System	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.35, No.7, August 2006, pp.867-890	Pan, P., Tomofuji, H., Wang, T., Ohsaki, M., Mosalam, K.
2006	Seismic-Resistant Weld-Free Steel Frame Buildings with Mechanical Joints and Hysteretic Dampers	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.132, No.6, June 2006, pp.864-872	Inoue, K., Suita, K., Takeuchi, I, Chusilp, P., Zhou, F.
2006	On-Line Hybrid Test Combining with General-Purpose Finite Element Software	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.35, No.12, November 2006, pp.1471-1488	Wang, T., Pan, P.
2006	Experimental Performance of Link-to-Column Connections in Eccentrically Braced Frames	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol. 132, No. 8, August 2006, pp.1201-1211	Okazaki, T., Engelhardt, M. D., Suita, K.
2006	Stability Requirements for Beams in Seismic Steel Moment Frames	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.132, No.9, September 2006, pp.1334-1342	Okazaki, T., Liu, D., Engelhardt, M. D.
2006	鋼構造骨組の崩壊に至る挙動と非線形骨組解析 - 実大3層鋼構造骨組を用いた耐震性能実証実験 -	日本建築学会構造系論文集, 第606号, 2006年8月, pp.203-208	松宮智央, 吹田啓一郎, 劉大偉
2006	鋼構造露出柱脚におけるベースプレートと基礎モルタル間の摩擦抵抗	日本建築学会構造系論文集, 第606号, 2006年8月, pp.217-223	長江拓也, 池永昌容, 吹田啓一郎
2006	層降伏する鉄筋コンクリート造ピロティ建物の耐震性能 - 確率論的評価を通して -	日本建築学会構造系論文集, 第610, 2006年12月, pp.123-129	長江拓也, 吹田啓一郎
2007	Interaction between Cladding and Structural Frame Observed in a Full-Scale Steel Building Test	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.36, No.2, February 2007, pp.35-53	Okazaki, T., Suita, K., Matsumiya, T.
2007	Full-Scale Test of Composite Frame under Large Cyclic Loading	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.133, No.2, February 2007, pp.297-304	Matsumiya, T., Suita, K., Zhou, F.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2007	残留変形低減をめざしたセルフセンタリング柱脚の開発と載荷実験	日本建築学会構造系論文集, No.612, 2007年2月, pp.223-229	池永昌容, 長江拓也, 吹田啓一郎
2007	Seismic Performance Evaluation of Nonstructural Components: Drywall Partitions	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.36, No.3, March 2007, pp.367-382	Lee, T. H., Kato, M., Matsumiya, T., Suita, K.
2007	繰返し載荷を受ける角形鋼柱の変形能力に及ぼす局部座屈の影響	日本建築学会構造系論文集, 第613号, pp.155-162, 2007年3月	倉田真宏, 金尾伊織, 劉大偉
2007	繰返し載荷を受ける浅い埋込み柱脚の復元力特性 - その1 実験計画と初期剛性, 最大耐力の評価法	日本建築学会構造系論文集 No.613, 2007年3月, pp.147-154	山本遼太, 倉田真宏, 長江拓也, 吹田啓一郎
2007	軽量鉄骨下地間仕切り壁の耐震性能と修復性の検証	日本建築学会構造系論文集, No.614, 2007年4月, pp.139-146	加登美喜子, 松宮智央, 吹田啓一郎, 松岡祐一
2007	Finite element analysis of a composite frame under large lateral cyclic loading	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.133, No.7, July 2007, pp.1018-1026	Zhou, F., Mosalam, K. M.
2008	鉄筋補強柱脚実験と塑性変形能力 - その2 浅い埋込み柱脚の弾塑性挙動と保有性能	日本建築学会構造系論文集 No.623, 2008年1月, pp.111-118	植村具民, 山本遼太, 長江拓也, 寺田岳彦, 吹田啓一郎
2008	初期超高層ビル柱梁接合部の実大実験による耐震性能の検証	日本建築学会構造系論文集 No.623, 2008年1月, pp.119-121	山田祥平, 北村有希子, 吹田啓一郎
2008	居住性・施工性・安全性指標に基づく建物の許容残留変形評価	日本建築学会構造系論文, No.624, 2008年2月, pp.325-336	油野 弘, 池永昌容, Jason McCormick
2008	Numerical Characteristics of Peer-to-Peer (P2P) Internet Online Hybrid Test System and its Application to Seismic Simulation of SRC Structure	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.37, No.2, February 2008, pp.265-282	Wang, T., Yoshitake, N., Pan, P., Lee, T. H.
2008	複数の構造実験を用いた分散型オンライン応答実験による鋼構造骨組崩壊挙動の再現	日本建築学会構造系論文集 No.625, 2008年3月, pp.441-448	吉竹宣也, 王涛, ジェイソン・マコーミック, 村田庸介
2008	Collapse Simulation of a Four-story Steel Moment Frame by Distributed Online Hybrid Test	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.37, No.6, May 2008, pp.955-974	Wang, T., McCormick, J., Yoshitake, N., Pan, P., Murata, Y.
2008	セルフセンタリング柱脚を用いた鉄骨骨組の残留変形低減効果	構造工学論文集, 日本建築学会, Vol. 54B, 2008年4月, pp.162-169	池永昌容

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2008	鋼構造露出柱脚と基礎モルタル間の摩擦性状に関する振動台実験	日本建築学会構造系論文集, No.629, 2008年7月, pp.1185-1192	池永昌容, 長江拓也, ジェイソン・マコーミック, 勝尾美香
2008	家具および非構造部材に着目する高層建物の地震応答再現実験 - E-ディフェンス振動台による実規模実験システム -	日本建築学会構造系論文集, No.628, 2008年6月, pp.1007-1014	長江拓也, 梶原浩一, 藤谷秀雄, 福山國夫, 川辺秀憲, 大西一嘉, 城戸史郎
2008	軽量鉄骨下地間仕切壁とそれに囲まれた鋼製下地天井の耐震性能	日本建築学会構造系論文集 No.632, 2008年10月, pp.1857-1864	松岡祐一, ジェイソン・マコーミック, 吹田啓一郎
2008	超高層建物の地震応答を再現する震動台実験手法の開発日本建築学会構造系論文集	No..634, 2008年12月, pp.2111-2118	榎田竜太, 梶原浩一, 長江拓也, 紀暁東
2009	側柱柱脚実験と浅い埋込み柱脚耐力・剛性評価 - 浅い埋込み柱脚の弾塑性挙動と保有性能 その3	日本建築学会構造系論文集, No.635, 2009年1月, pp.129-136	山本遼太, 植村具民, 崔瑤, 吹田啓一郎
2009	Use of SFRCC in Shallowly Embedded Steel Column Bases	構造工学論文集, 日本建築学会, Vol.55B, pp.285-292	Cui, Y., Tai, T., Hitaka, T.
2009	大振幅応答を実現する震動台実験手法の構築と超高層建物の室内安全性	日本建築学会構造系論文集, No..637, 2009年3月, pp.467-474	榎田竜太, 長江拓也, 梶原浩一, 紀暁東
2009	超高層建物の耐震性能を検証する実架構実験システムの構築 - E-ディフェンス振動台実験 -	日本建築学会構造系論文集, 第685号, 2013年3月, pp.569-578	長江拓也, 鍾育霖, 島田侑, 福山國夫, 梶原浩一, 井上貴仁, 斉藤大樹, 北村春幸, 福和伸夫, 日高桃子
2009	Investigation of the sliding behavior between steel and mortar for seismic applications in structures	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.38, No.12, 2009, pp1401-1419	McCormick, J., Nagae, T., Ikenaga, M., Zhang, P. C., Katsuo, M.
2009	A Substructure Shaking Table Test for Reproduction of Earthquake Responses of High-rise Buildings	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.38, No.12, 2009, pp1381-1399	Ji, X. Kajiwara, K., Nagae, T., Enokida, R.
2009	Hysteretic Behavior and Strength Capacity of Shallowly embedded Steel Column Bases	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.135, No.10, October 2009, pp.1231-1238	Cui. Y., Nagae, T.
2009	Effect of gravity columns on mitigation of drift concentration for braced frames	Journal of Constructional Steel Research, Vol.65, No.12, 2009, pp.2148-2156	Ji, X., Kato, M., Wang, T., Hitaka, T.



発表年	論文名	発表誌名	共著者
2010	超高層建物の下層階に部分配置する履歴型ダンパーの効果と影響に関する検討 - 長周期地震動を想定した耐震改修 -	第649号, 2010年3月, pp.549-506	島田侑, 佐藤大樹, 長江拓也, 北村春幸, 福山國夫, 梶原浩一, 井上貴仁, 斎藤大樹, 福和伸夫, 日高桃子
2010	中島正愛: 医療施設の機能保持性能を検証するための実大震動台実験 - 震災時における都市施設の安全性・機能性評価	日本建築学会構造系論文集, 第650号, 2010年4月, pp.771-779	佐藤栄児, 酒井久伸, 福山國夫, 古川幸, 鎌田崇義, 笈淳夫, 小林健一, 井上貴仁
2010	Seismic Resistance Capacity of High-Rise Buildings Subjected to Long-Period Ground Motions: E-Defense Shaking Table Test	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.136, No.6, 2010, pp637-644	Chung, Y., Nagae, T., Hitaka, T.
2010	SFRCC製床スラブを外ダイアフラムとして用いる鋼構造柱梁接合形式の開発	日本建築学会構造系論文集, 第653号, 2010年7月, pp.1369-1376	田井暢, 日高桃子, 崔瑤, 宋書海
2010	長周期地震動を受ける鋼構造長高層建物エネルギー吸収と分担率 - 部分切り出し架構に対するE - ディフェンス振動台実験	日本建築学会構造系論文集, 第653号, 2010年7月, pp.1217-1226	佐藤大樹, 島田侑, 大内隼人, 長江拓也, 北村春幸, 福山國夫, 梶原浩一, 井上貴仁
2010	実大4層鉄骨造建物のブラインド解析コンテストに基づく解析精度の検討	日本建築学会構造系論文集, No.655, 2010年9月, pp.1717-1726.	引野剛, 大崎純, 笠井和彦, 多田元英
2010	Online Test of Buckling Frame with Slit-Wall Dampers Capable of Condition Assessment	Journal of Constructional Steel Research, Vol.66, No.11, November 2010, pp.1320-1329	Jacobsen, A., Hitaka, T.
2011	Seismic Resistance Capacity of Beam-Column Connections in High-Rise Buildings: E-Defense Shaking Table Test	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.40, No. 6, 2011, pp.605-622	Chung, Y., Nagae, T., Matsumiya, T.
2010	振動台の再現可能振動数を超える高振動数入力を実現する衝突振動台実験手法	日本建築学会構造系論文集, No.657, pp.1975-1982, 2010年11月	榎田竜太, 長江拓也, 梶原浩一
2010	木質パネルで面外補剛されたスリット入り鋼板の耐震性能	日本建築学会構造系論文集, No.657, pp.2055-2061, 2010年11月	伊藤麻衣, 坪山紀子
2011	鋼とモルタルのすべり面をもつ剛構造物と柔構造物の動摩擦特性	日本建築学会構造系論文集, No.661, pp.527-533, 2011年3月	榎田竜太, 池永昌容, 長江拓也
2011	汎用オンライン応答実験システムの開発と木質パネル補剛鋼板ダンパーを組み込んだ鋼構造骨組に対する地震応答	構造工学論文集, 日本建築学会, 57B, pp.411-420, 2011年4月	伊藤 麻衣, 村田 庸介, 保木 和明

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2011	Full-Scale Shaking Table Test for Examination of Safety and Functionality of Base-Isolated Medical Facilities	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.40, No. 6, June 2011, pp.1435-1453	Sato, E., Furukawa, S., Kakehi, A.
2011	Hysteretic Behavior and Strength Capacity of Shallowly Embedded Steel Column Bases with SFRCC Slab	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.40, No.13, 2011, pp.1495-1513	Cui Y.
2011	Numerical and Experimental Evaluation of Seismic Capacity of High-Rise Steel Buildings subjected to Long Duration Earthquakes	Computers and Structures, Vol.89, Issues 11-12, 2011, pp.959-967	Lignos, D. G., Chung, Y., Nagae, T.
2011	長周期地震動を受ける超高層建物の鋼製ダンパーによる制振改修に関するE-ディフェンス振動台実験	日本建築学会構造系論文集, 第667号, 2011年9月, pp.1639-1646	佐藤大樹, 長江拓也, 大内隼人, 島田 侑, 北村春幸, 福山國夫, 梶原浩一, 井上貴仁, 斉藤大樹, 福和伸夫
2012	Seismic Damage Detection of a Full-Scale Shaking Table Test Structure	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.137, No.1, January 2012, pp.14-21	Ji, X., Fenves, G., Kajiwar, K.
2012	Seismic Capacity of Retrofitted Beam-to-Column Connections in High-Rise Steel Frames When Subjected to Long-Period Ground Motions	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.41, No.4, 2012, pp.735-753	Chung, Y., Nagae, T., Matsumiya, T.
2012	超高層鋼構造建物の柱梁接合部に関する4層骨組振動台実験	日本建築学会構造系論文集, 第671号, 2012年1月, pp.85-92	松宮智央, 長江拓也, 鍾育霖, 岡崎太郎, 福山國夫
2012	スリット入り鋼板耐震壁におけるパネル型面外補剛法の検証実験	日本建築学会構造系論文集, 第672号, 2012年2月, pp.283-290	伊藤麻衣, 坪山紀子, 谷口雄大, 保木和明
2012	Steel Plate Shear Wall with Tension-Bracing for Seismic Rehabilitation of Steel Frames	Journal of Constructional Steel Research, Vol.71, 2012, pp. 92-103	Kurata, M., Leon. T. R., DesRoches, R.
2012	Application of Headed Studs in Steel Fiber Reinforced Cementitious Composite Slab of Steel Beam-Column Connections	Journal of Earthquake Engineering and Engineering Vibration, Vol. 11, No. 1, March 2012, pp.11-20	Cui, Y.
2012	鉛直動下における免震建物内部に設置した機器の挙動	構造工学論文集, 58B号, 2012年4月, pp.169-178	古川幸, 佐藤栄児

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2012	SFRCCと密に配置した鋼製スタッドによる接合の耐力評価	日本建築学会構造系論文集, 第676号, 2012年6月, pp.975-983	保木和明, 羅雲標
2012	建物の水平加振時の上下振動成分データを利用した鉄骨梁端部の破断検知	日本建築学会構造系論文集, 第680号, 2012年10月, pp.1501-1508	日下彰宏, 鈴木康嗣, 安達直人, 岩本賢治
2012	Closure to “Seismic Damage Detection of a Full-Scale Shaking Table Test Structure	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.138 No.11, November 2012, pp.1417.1418	Ji, X., Fenves, G. L., Kajiwara, K.
2012	H SA700 鋼を用いたボルトによる組立柱部材の曲げ性能	鋼構造論文集, 日本鋼構造協会, 2012年11月	林和宏, 岡崎太一郎, 林旭川
2012	無規範モデル化したMinimal Control Synthesisによる非線形 1 質点構造物の制御	日本建築学会構造系論文集, 第682号, 2012年12月, pp.1863-1870	梶原浩一, 榎田竜太
2013	Collapse Assessment of Steel Moment Frames based on E-Defense Full-Scale Shake Table Collapse Tests	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol. 139, No. 1, January 2013, pp.120-132	Lignos, G. D., Hikino, T., Matsuoka, Y.
2013	Damping Identification of a Full-Scale Passively-Controlled Five-Story Steel Building Structure	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.42, February 2013, pp.277-295	Ji, X., Hikino, T., Kasai, K.
2013	Flexural Performance of Bolted Built-Up Columns Constructed of H-SA700 Steel	Journal of Constructional Steel Research, January 2013, pp.48-58	Lin, X., Okazaki, T., Chung, Y. L.
2013	黒鉛潤滑を応用した直置き型鋼構造建物柱脚の摩擦低減	日本建築学会構造系論文集, 第685号, 2013年3月, pp.435-442	榎田竜太, 長江拓也, 池永昌容, 稲美充顕
2013	超高層鋼構造建物の現場溶接接合部が有する耐震性能を検証するE-ディフェンス震動台実験	日本建築学会構造系論文集, 第685号, 2013年3月, pp.569-578	岡崎太一郎, 松宮智央, 長江拓也, 福山國夫, 井上貴仁
2013	Out-of-Plane Stability of Buckling-Restrained Braces Placed in a Chevron Arrangement	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol. 139, No. 11, November 1, 2013, pp.1812-1822	Hikino, T., Okazaki, T., Kajiwara, K.
2013	非構造部材が鉄骨造建物の全体挙動に及ぼす影響 - 外装材と間仕切り壁の力学的特性を表す履歴モデルの提案	構造工学論文集, Vo..59B, 2013年3月, pp.191-199	松岡祐一, 吹田啓一郎

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2013	スリット入り鋼板耐震壁のパネル補剛設計式	日本建築学会構造系論文集, 第687号, 2013年5月, pp.987-994	伊藤麻衣・林和宏・谷口雄大・倉田真宏
2013	Full-scale Shaking Table Test of a Base-isolated Medical Facility subjected to Vertical Motions	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol. 42, No.13, 25 October 2013, pp.1931-1949	Furukawa, S., Becker, T. C., Shi, Y., Sato, E.
2013	Development of Steel Beam-to-Column Connections using SFRCC Slabs	Engineering Structures, Vol.52, No.7, July 2013, pp.545-557	Cui, Y., Luo, Y.
2013	H-infinity Control in the Frequency Domain for a Semi-Active Floor Isolation System	Fronteer of Civil Engineering, Frontier of Civil Engineering, Vol.7(3), September 2013, pp.264-275	Shi Y., Becker, T. C., Kurata, M.
2014	LQR Control with Frequency-Dependent Scheduled Gain for a Semi-active Floor Isolation System	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.43, July 2014, pp.1265-1284	Shi, Y., Becker, T. C., Furukawa, S., Sato, E.
2014	Disorder and Damage of Base-Isolated Medical Facilities When Subjected to Near-Fault and Long-Period Ground Motions	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.43, No.11, September, 2014, pp.1683-1701	Shi, Y., Kurata, M.
2014	鉄骨筋かい構造の構造特性係数の再考と代替構造特性係数の提案	構造工学論文集, Vol.60B, 2014年3月, pp.265-272	加登美喜子, Wang, T.
2014	木パネル補剛鋼板耐震壁におけるパネル補剛力特性	構造工学論文集, Vol.60B, 2014年3月, pp.399-405	伊藤麻衣, 谷口雄大, 林和宏, 倉田真宏
2014	地震を受けた低層RC建物の非構造部材・建築設備の損傷と建物機能回復に至る過程の分析	構造工学論文集, Vol.60B, 2014年3月, pp.521-528	吉澤睦博, 長江拓也, 梶原浩一
2014	震災後の安全確認に用いる鋼構造梁端部破壊確率のベイズ更新	日本建築学会構造系論文集, No.700, 2014年6月, pp.839-846	日下彰宏, 岡野創
2014	H-SA700鋼と高力ボルトを用いた組立柱の柱梁接合部	鋼構造論文集, 第21巻, 第82号, 2014年6月, pp.39-50	林和宏, 岡崎太一郎, 林旭川
2014	Investigation of Concrete-Filled Double-Skin Steel Tubular Columns with Ultrahigh-Strength Steel	Journal of Structural Engineering, ASCE, Vol.140, 2014, pp.0404166-1-8	Hsiao, P. C., Hayashi, K., Nishi, R., Lin X.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2014	合成梁を有する鋼構造柱梁接合部の繰返し載荷による振動特性の変化 - 実大試験体を用いた振動試験	日本建築学会構造系論文集, 2014年9月, pp.1271-1278	倉田真宏, 峰岸楓, 唐貞云
2014	超高強度鋼H-SA700を用いた中空CFT柱部材の曲げ圧縮性能	日本建築学会構造系論文集, 705号, 2014年11月, pp.1699-1706	林和宏, 西亮祐, 榎本龍介, 倉田真宏
2015	Application of Isolation to High-Rise Buildings: A Japanese Design Case Study through a US Design Code Lens	Earthquake Spectra, Earthquake Engineering Research Institute, Vol. 31, No. 3, August 2015, pp. 1451-1470	Becker, T., Yamamoto S., Hamaguchi, H., Higashino, M.
2015	軽量引張鋼棒と鋼板を組み合わせた低負荷な鋼骨組耐震補強機構の提案	日本建築学会構造系論文集, 709号, 2015年3月, pp.491-500	倉田真宏, 佐藤美帆, Zhang Lei
2015	極低降伏点鋼LY100を用いた多段スリット入り鋼板耐震壁の開発	日本建築学会構造系論文集, 709号, 2015年3月, pp.501-508	東郷拓真, 和留生, 林和宏, 倉田真宏
2015	既存骨組の耐力と剛性を考慮した間柱型耐震壁の設計手順	日本建築学会構造系論文集, 711号, 2015年5月, pp.811-819	伊藤麻衣, 林和宏, 谷口雄大, 倉田真宏
2015	安全余裕の推定誤差の相関を考慮した鋼構造梁端部破壊確率のベイズ更新	日本建築学会構造系論文集, 712号, 2015年6月, pp.851-858	日下彰宏, 岡野創
2015	Steel Slit Shear Walls with Double-tapered Links Capable of Condition Assessment	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.44, No.8, July 2015, pp.1271-1287	Kurata, M., He, L.
2015	Evaluating Damage Extent of Fractured Beams in Steel Moment Resisting Frames using Dynamic Strain Responses	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol.44, No.4, March 2015, pp.563-581	Li, X., Kurata, M.
2016	Development and Testing of Naturally Buckling Steel Braces	Journal of Structural Engineering Januray, Vol. 142, No. 1, 2016	Hsiao, P-C., Hayashi, K., Inamasu, H., Luo, Y.
2015	異種鋼材を併用した偏心座屈ブレースの提案とその実験的検証	第713号, 2015年7月, pp.1065-1063	稲益博行, Hsiao, P. C., 林和宏
2015	振動下の内力分布推定に基づいた鋼構造柱梁接合部の健全性評価	第713号, 2015年7月, pp.1045-1052	倉田真宏, 鈴木明子, 峰岸楓

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2015	Behavior and Strength of Headed Stud-SFRCC Shear Connection. I: Experimental Study	Journal of Structural Engineering, ASCE (published online)	Luo, Y., Hoki, K., Hayashi, K.
2015	Behavior and Strength of Headed Stud-SFRCC Shear Connection. II: Strength Evaluation	Journal of Structural Engineering, ASCE (published online)	Luo, Y., Hoki, K., Hayashi, K.
2015	Condition Assessment of Steel Shear Walls with Tapered Links under Various Loading	Earthquakes and Structures, Vol. 9, No. 4, 2015, pp.767-788	He, L., Kurata, M.
2015	Kurata, M., Sato, M., Zhang, L., Lavan, O., Becker, T.	Journal of Earthquake Engineering and Structural Dynamics (published online)	Kurata, M., Sato, M., Zhang, L., Lavan, O., Becker, T.
2015	超高強度鋼H-SA700を用いたコンクリート充填鋼管柱の復元力特性と終局状態	日本建築学会構造系論文集, 第718号, 2015年12月, pp.2001-2008	林和宏, 西亮祐, 羅雲標, 倉田真宏
2015	Simplified Derivation of a Damage Curve for Seismically Induced Beam Fractures in Steel Moment-Resisting Frames	Journal of Structural Engineering, ASCE (published online)	Li,X., Kurata, M.
2016	極低降伏点鋼スリット鋼板を用いた組立式耐震壁の耐震挙動とその設計法	日本建築学会構造系論文集, 第720号, 2016年2月, pp.335-342	東郷拓真, 和留生, 林和宏, 倉田真宏
2016	中層免震建物の大地震時上層階加速度応答の低減を目的としたTMDの活用とその効果	日本建築学会構造系論文集, 第720号, 2016年2月, pp.261-268	佐分利和宏, 石運東
2016	Evaluation of Simplified and State-of-the-Art Analysis Procedures for Steel Frame Buildings Equipped with Supplemental Damping Devices Based on E-Defense Full-Scale Shake Table Tests	Journal of Structural Engineering, ASCE (published online)	Akcelyan, S., Lignos, D., Hikino, T.
2016	Macromodeling of Crack Damage in Steel Beams Subjected to Nonstationary Low Cycle Fatigue	Journal of Structural Engineering, ASCE (published online)	Bai, Y., Kurata, M., Florez-Lopez, J.
2016	Cyclic Behavior of Multirow Slit Shear Walls Made from Low-Yield-Point Steel	Journal of Structural Engineering, ASCE (published online)	He, L., Togo, T., Hayashi, K., Kurata, M.
2016	Experimental Behavior of Concrete-Filled Steel Tube Columns Using Ultrahigh-Strength Steel	Journal of Structural Engineering, ASCE (published online)	Skalomenos, K. A., Hayashi, K., Nishi, R., Inamasu H.

海外会議論文

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1980	Behavior of Flat Plate Floor Systems Under In-Plane Seismic Loading	Proceedings, Seventh World Conference on Earthquake Engineering, Istanbul, Turkey, September 1980, Vol.5, pp.9-16.	Karadogan, H. F., Huang, T., Lu, L. W.
1980	Current Research at Lehigh University on Concrete Floor Systems Under In-Plane Seismic Loading	Proceedings of the Seventh World Conference on Earthquake Engineering, Istanbul, Turkey, September 1980, Vol.9, pp.145-156	Lu, L. W., Huang, T., Karadogan, H. F.
1983	Large Scale Seismic Testing of Building Structures	Proceedings of the Fourth Engineering Mechanics Division Specialty Conference, ASCE, West Lafayette, USA, May 23-25, 1983, Vol.1, pp.634-637	Okamoto, S., Kaminosono, T., Kato H.
1983	Seismic Test Facilities for Building Structures in Japan	Proceedings of the Fourth Engineering Mechanics Division Specialty Conference, ASCE, West Lafayette, USA, May 23-25, 1983, Vol.1, pp.638-641	Kamimura, K
1984	Effect of Diaphragm Flexibility on Seismic Response of Building Structures	Proceedings of the Eighth World Conference on Earthquake Engineering, San Francisco, USA, July 1984, Vol.4, pp.735-742	Huang, T., Lu, L. W.
1984	Correlation Between Shaking Table Test and Pseudo Dynamic Test on Steel Structures	Proceedings of the Eighth World Conference on Earthquake Engineering, San Francisco, USA, July 1984, Vol.6, pp.111-118	Yamazaki, Y., Kaminosono, T.
1986	Earthquake Response Simulation Capacity of Pseudo Dynamic Testing, -Experimental Demonstration and Analytic Evaluation-	Proceedings of the Third ASCE Engineering Mechanics Specialty Conference on Dynamic Response of Structures, Los Angeles, USA, March 1986, pp.446-453	Yamazaki, Y., Kaminosono, T.
1986	On-Line Computer Test Control Method and Its Application to Earthquake Response Simulation of Steel Structural Models	Proceedings of the International Conference on Steel Structures, Budva, Yugoslavia, September 1986	Takanashi, K.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1988	Hysteresis Models for Earthquake Response Simulation	Proceedings of the Thirteenth Congress of the International Association for Bridge and Structural Engineering, Helsinki, Finland, June 1988, pp.793-798	Kato, H.
1988	Feasibility of Pseudo Dynamic Test Using Substructuring Techniques	Proceedings of the Ninth World Conference on Earthquake Engineering, Tokyo-Kyoto Japan, August 1988, Vol.4, pp.47-52	
1988	Experimental Error Growth Behavior and Error Growth Control in Pseudo Dynamic Test	Proceedings of the Ninth World Conference on Earthquake Engineering, Tokyo-Kyoto Japan, August 1988, Vol.4, pp.53-58	Kato, H.
1988	Session Report: Summary Report: Special Theme Session (SI) on Experimental Methods for Structures (Part 2, Scale Effects in Modelling Structures)	Proceedings of the Ninth World Conference on Earthquake Engineering, Tokyo-Kyoto Japan, August 1988, Vol.8, pp.927-932	
1989	Design of Steel Beam-Columns Subject to Sidesway	Proceedings of the Fourth International Colloquium on Structural Stability, Asian Session, Beijing, China, October 1989, pp.441-450	Takanashi, K.
1989	Nonlinear Behavior of Building Structures	Proceedings of the Fourth Japanese-German Seminar on Nonlinear Problems in Dynamical Systems (Theory and Applications), edited by Hirai, K. and Shimemura, E., Kobe, Japan, October 1989, pp.114-121	
1990	Design for Steel Beam-Columns Subjected to Sidesway	Proceedings of the Third Summer Colloquium on Shell and Spatial Structures, Taegu, Korea, August 1990, pp.597-608	Kim, J. S., Takanashi, K.
1990	Design of Steel Beam-Columns Subject to Sidesway	Proceedings of the International Colloquium on Stability of Steel Structures, Budapest, Hungary, April 1990	Takanashi, K.



発表年	論文名	発表誌名	共著者
1990	Integration Techniques for Substructure Pseudo Dynamic Test	Proceedings of the Fourth U.S. National Conference on Earthquake Engineering, Palm Springs, USA, May 20-24, 1990, Vol.2, pp.515-524	
1991	Axial Compression Behavior of Concrete Filled Circular Steel Tubes	Proceedings of the Third International Conference on Steel-Concrete Composite Structures, Fukuoka, Japan, September 1991, pp.19-24	Tsuji, B., Morita, S.
1992	Extensions of On-Line Computer Control Method	Proceedings of U.S.-Japan Seminar on Development and Future Dimensions of Structural Testing Techniques, Honolulu, USA, June 1992	
1992	Variation and Prediction of Deformation Capacity of Steel Beam-Columns	Proceedings of the Tenth World Conference on Earthquake Engineering, Madrid, Spain, July 18-24, 1992, Vol.8, pp.4501-4507	
1992	Effect of Strain Hardening on Post-Buckling Resistance of Steel Braces	Proceedings of the Third Pacific Structural Steel Conference, Tokyo, Japan, October 1992, pp.561-568	Nishino, T., Tsuji, B., Iwasa, Y.
1992	Simple Expressions for Predicting Fundamental Natural Periods of High-Rise Buildings	Proceedings of the First International Conference on Constructional Steel Design, Acapulco, Mexico, December 1992, pp.385-394	Yanagi, H., Hosotsuji, J.
1993	Seismic Analysis of Steel Energy Absorbers by Hybrid Experiment	Proceedings of the 3rd NTU-KU-KAIST Trilateral Seminar/Workshop on Civil Engineering, Taejeon, Korea, September 1993, pp.57-62	Tsai, K. C., Li, J.W., Wang, T. F.
1994	Stability Considerations on Seismic Performance of Steel Structures	Proceedings of the Fiftieth Anniversary Conference of the Structural Stability Research Council, Bethlehem, USA, July 1994, pp.119-133	Takanashi, K.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1994	Variation of Ductility Capacity and Demand in Steel Building Structures	Proceedings of Annual Technical Session of the Fiftieth Anniversary Conference of the Structural Stability Research Council, Bethlehem, USA, July 1994, pp.289-297	Kato, M., Tsuji, B.
1996	Lessons Learned from the 1994 Northridge Earthquake: Comparison of the Seismic Performance of Steel Beam-to-Column Connections in Japan and the U.S.	Proceedings of the Seventh U.S.-Japan Workshop of the Improvement of Structural Design and Construction Practices, Japan Structural Consultant Association and Applied Technology Council, Kobe, Japan, January 1996, pp.32.1-32.9	
1996	Distribution of Energy Input and Dissipation Along Stories in Steel Building Structures with Hysteretic Dampers	Proceedings of the Eleventh World Conference on Earthquake Engineering, Acapulco, Mexico, June 1996, Paper #260	Mitani, T.
1996	Simple Model for Simulating Hysteretic Behavior Involving Significant Strain Hardening	Proceedings of the Eleventh World Conference on Earthquake Engineering, Acapulco, Mexico, June 1996, Paper #264	Akazawa, T., Sakaguchi O.
1997	Post-Earthquake Analysis of Steel Buildings Damaged During the 1995 Hyogoken-Nanbu Earthquake	Proceedings of the Fifth International Colloquium on Stability and Ductility of Steel Structures, Nagoya, Japan, July 1997, pp.723-730	Yamao, K., Minami, T.
1997	Control of Maximum and Cumulative Deflections in Steel Building Structures Combined with Hysteretic Dampers	Proceedings of the Second International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Kyoto, Japan, August 3-8, 1997, pp.744-751	Mitani, T., Tsuji, B.
1997	Uncertainties Associated with Ductility Performance of Steel Building Structures	Seismic Design Methodologies for the Next Generation of Codes, edited by Fajfar, P and Krawinkler, H., Balkema, Rotterdam, 1997, pp.111-118	
1998	Post-Kobe Research in Japan on Steel Moment Frames and Their Beam-to-Column Connections	Proceedings of U.S.-Japan Seminar on Mitigation of Near-Field Earthquake Damage in Urban Areas, Honolulu, USA, January 1998, pp.37-39	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1998	Full-Scale Test on Beam-Column Subassemblages Having Connection Details of Shop-Welding Type	Proceedings of the Structural Engineers World Conference, San Francisco, USA, July 1998, Paper#T158-7	
1998	Variation Associated with Trade-off Between Strength and Ductility in Seismic Design of Steel Building Structures	Proceedings of the Structural Engineers World Conference, San Francisco, USA, July 1998, Paper#T113.3	
1998	Deformation Behavior of Base-Isolated Buildings in Near-Fault Earthquakes	Proceedings of IABSE Symposium on Long-Span and High-Rise Structures - Engineering Challenges for the 21st Century, Kobe, Japan, September 1998, pp.655-660	
1998	Comparisons of Steel Damage and Post-Earthquake Research in the US and Japan	Proceedings of the SAC Meetings of Project Participants, Los Angeles, USA, September 1998, pp.48-53	
1999	Reevaluation of Seismic Capacity and Demand on Beam-Column Connections of Japanese Moment Frames, - Action after the 1995 Hyogoken-Nanbu (Kobe) Earthquake	Proceedings of the Second European Conference on Steel Structures, Prague, Czech, May 1999, Paper#67	
1999	Development, Potential, and Limitations of Real-Time Online Test	Proceedings of the International Symposium on Theory and Application of Structural Engineering Test Method, Beijing, China, November 1999, pp.8-15	
2000	Column-to-Beam Strength Ratio required for Ensuring Beam-Collapse Mechanisms in Earthquake Responses of Steel Moment Frames	Proceedings of the Twelfth World Conference on Earthquake Engineering, Auckland, NZ, January 2000, Paper#1109/6/A	Sawaizumi, S.
2000	Comparison of Seismic Capacity between Post-Northridge and Post-Kobe Beam-to-Column Connections	Proceedings of the Second International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Montreal, Canada, August 2000, pp.271-278	Suita, K., Engelhardt, M. D.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2000	Quality Assurance for Welding of Japanese Welded Beam-to-Column Connectoins	Proceedings of the Second International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Montreal, Canada, August 2000, pp.223-230	
2000	Comparison in Earthquake Responses of Steel Moment Frames Subjected to Near-Fault Strong Motions Recorded in Japan, Taiwan, and the U.S.	Proceedings of International Workshop on Annual Commemoration of Chi-Chi Earthquake, Taiepi, Taiwan, September 2000, pp.112-123	Matsumiya, T., Asano, K.
2000	Cyclic Behavior of Link-to-Box Column Connections in Eccentrically Braced Frames	Proceedings of the First International Conference on Structural Stability and Dynamics, Taipei, December 2000 pp.599-604	Tsai, K. C., Chen, C. H., Engelhardt, M. D.
2000	Earthquake Responses of Steel Moment Frames Involving Beam Fractures	Proceedings of the First International Conference on Structural Stability and Dynamics, Taipei, Taiwan, December 2000 pp.95-104	
2001	Lateral Buckling, Post-Buckling Instability, and Fracture of Steel Beams subjected to Large Cyclic Deformations	Proceedings of the US-Japan Seminar on Advanced Stability and Seismicity Concept for Performance-based Design of Steel and Composite Structures, July 23-26, Kyoto, Japan, July 2001, pp.98-105	Liu, D., Kanao, I.
2001	Unresolved Issues on Earthquake Resistance of Steel Building Structures	Proceedings of the Seventh International Symposium of the Japan Welding Society, November 2001, Kobe, Japan, pp.1-6	
2001	Advancements of Experimental Techniques for Simulation of Earthquake Responses of Structural Members and Systems	Abstract Volume of Japan-Italy Joint Meeting on Earth Sciences and natural Disaster Mitigation, December 2001, Kyoto, Japan, pp.59-64	
2002	Impact of U.S.-Japan Research Using Large-Scale Testing Facilities on Development of Pseudo Dynamic Testing	Proceedings of the US Berkeley - CUREE Symposium in Honor of Ray Clough and Joseph Penzien, May 2002, Berkeley, CA, USA, pp.60-61	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2003	Issues to be Resolved in Practical Implementation of Real-Time Hybrid Testing	Issues to be Resolved in Practical Implementation of Real-Time Hybrid Testing	
2003	Issues to be Resolved in Practical Implementation of Real-Time Hybrid Testing	Proceedings of the ASCE Structural Congress, Seattle, WA, USA, May 2003	
2003	Behavior of Link-to-Column Connections in Steel Eccentrically Braced Frames	Proceedings of the Fourth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Naples, Italy, June 2003, pp.351-356	Okaszaki, T., Engelhardt, M. D., Suita, K., Tsai, K. C.
2003	Test on Complete Failure of Steel Columns Subjected to Cyclic loading	Proceedings of the Fourth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Naples, Italy, June 2003, pp.169-174	Liu, D., Kanao, I.
2003	Effect of Vertical Vibration on Story Drift, Column Axial Force, and Beam Acceleration of Steel Moment Frames Subjected to Near-Fault Motions	Proceedings of the Fourth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Naples, Italy, June 2003, pp.541-546	Pan, P.
2003	Instability and Complete Failure of Steel Columns Subjected to Cyclic Loading	Proceedings of the Sixteenth Engineering Mechanics Conference, ASCE, Seattle, WA, USA, July 2003	Liu, D.
2003	Post-Kobe Seismic Design and Construction Practices of Steel Building Structures	Proceedings of Taiwan-Japan Workshop on Seismic Disaster Simulation and Loss Estimation, Taipei, Taiwan, November 2003	
2004	Test on Collapse Behavior of 3D Full-Scale Steel Moment Frames Subjected to Cyclic Loading	Proceedings of the Seventh Pacific Conference of Steel Structures, Long Beach, CA, USA, March 2004	Matsumiya, T., Liu, D., Suita, K.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2004	“Ful-Scale Test of Three-Story Steel Moment Frames for Examination of Extremely large Deformation and Collapse Behavior	Proceedings of the Thirteenth World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, CA, August 2004, TH1-5 (3471)	Matsumiya, M., Suita, K., Chusilp, P.
2004	Hybrid Test on Base-Isolated Structures using Combined Force-Displacement Control	Proceedings of the Thirteenth World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, CA, August 2004, F2-4 (3466)	Pan, P., Tomofuji, H., Liu, D.
2004	From Infancy to Maturity of Buckling-Restrained Brace Research and Application	Proceedings of the Thirteenth World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, CA, August 2004, TH2-4 (1732)	Wada, A.
2004	Experimental Study on Link-to-Column Connections in Steel eccentrically Braced Frames	Proceedings of the Thirteenth World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, CA, August 2004, TH3-3 (275)	Okazaki, T., Engelhardt, M., D., Suita, K.
2004	Response and Damage of Base-Isolated Buildings Sbjected to Extremely Large Earthquakes	Proceedings of the Thirteenth World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, CA, August 2004, P5 (3493)	Pan, P., Nakayasu, N.
2004	Predictors of Seimisc Demand of SMRF Buildings Considering Post-Elastic Mode Shape	Proceedings of the Thirteenth World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, CA, August 2004, F2-2 (632)	Mori, Y., Yamanaka, T., Luco, N., Cornell, C. A.
2004	Experiment and Numerical Simulation on Collapse and Failure of Steel Frames and Members	Proceedings of International Conference in Commemoration of Fifthth Anniversary of the 1999 Chi-Chi Earthquake, Taipei, Taiwan, September 2004	Suia, K., Matsumiya, T.
2004	Effects of Vertical Ground Motions on Seismic Response of Base-Isolated Building Structures	Proceedings of Tenth Anniversary Symosium on Performance of Response Controlled Buildings, Yokohama, Japan, November 2004, Paper#S2-13	Pan, P., Tada, M.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2005	Substructure Online Test Combined with General-Purpose Finite Element Program	Proceedings of First International Conference on Advances in Experimental Structural Engineering, edited by Itoh, Y. and Aoki, T., July 2005 Nagoya, Japan, pp.243-250	Wang T., Pan, P., Tomofuji, H., Ohsaki, M.
2005	Test on Collapse Behavior of Structural Systems	Proceedings of Symposium to Celebrate Luis Esteve, Institute of Engineering Mechanics, UNAM, September 2005	
2006	Development of Column Bases having Self-Centering and Damping	Proceedings of the Fifth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, August 2006	Ikenaga, M., Nagae, T., Nakashima, M., Suita, K.
2006	Effects of RC Floor Slab on Hysteretic Characteristics of Steel Beams subjected to Large Cyclic Loading	Proceedings of the Fifth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, August 2006	Matsumiya, T., Suita, K., Liu, D.
2006	Design of Chevron Braced Frames Based on the Ultimate Lateral Strength II: Evaluation of Behavior Factor	Proceedings of the Fifth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, August 2006	Marino, E. M., Rossi, P. P.
2006	Design of Chevron Braced Frames Based on the Ultimate Lateral Strength I: Theory	Proceedings of the Fifth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, August 2006	Marino, E. Gherzi, A.
2006	Seismic Performance of Steel Column Base Embedded in a Shallow Concrete Slab	Proceedings of One Hundredth Anniversary Earthquake Conference, EERI, SSA, and ODA, San Francisco, CA, USA, April 2006, Paper # 8NCEE-473	Nagae, T., Yamamoto, R.
2006	Development of Peer-to-Peer (P2P) Internet Online Hybrid Test Systems	Proceedings of the Tenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction, Bangkok, Thailand. August 2006	Pan, P., Tomofuji, H., Wang, T., Nakashima, M., Ohsaki, M., Mosalam, K. M.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2007	Seismic Simulation of Complex Structures Using Distributed Online Hybrid Test System	Proceedings of Ninth Canadian Conference on Earthquake Engineering, Ottawa, Canada, June 2007, pp.619-628 (Paper 1052)	Wang, T., Pan, P., Yoshitake, N.
2007	Progress and Applications of a Peer-to-Peer (P2P) Internet Online Hybrid Test System	Proceedings of Ninth Canadian Conference on Earthquake Engineering, Ottawa, Canada, June 2007, pp.129-138 (Paper 1451)	McCormick, Jason, Wang, Tao, Pan, Peng
2007	Design and Implementation of Peer-To-Peer (P2P) Internet Online Hybrid Test System	Proceedings of the Second International Conference on Advances in Experimental Structural Engineering, Decemer 2007, Shanghai, China	Pan, P., Tomofuji, H., Wang, T., Ohsaki, M., Mosalam, K. M.
2007	Collapse Simulation of a Four-Story Steel Moment-Resisting Frame by Distributed Online Hybrid Test	Proceedings of the Second International Conference on Advances in Experimental Structural Engineering, Decemer 2007, Shanghai, China	Wang, T., Yoshitake, N., McCormick, J., Pan, P., Murata, Y.
2008	Verification Test of a Hybrid Test System with Distributed Column Base Tests	Proceedings of ASCE Structural Congress, Seattle, WA, USA, April 2008[78] McCormick, Matsuoka, Y., Pan, P.	Wang, T., McCormick, J.
2008	Evaluation of Non-Structural Partition Walls and Suspended Ceiling Systems through a Shake Table Study	Proceedings of ASCE Structural Congress, Seattle, WA, USA, April 2008	McCormick, Matsuoka, Y., Pan, P.
2008	Reproduction of High-Rise Buildings' Seismic Responses by Full-Scale Shaking Table Tests	Proceedings of Eleventh East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC-11) Building a Sustainable Environment, November 2008, Taipei, Taiwan	Ji, X., Kajiwara, K., Nagae, T., Enokida, R.
2008	Strengthening of Weak Story Moment Frames using a Rocking System with Tendons	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Wang, T., Aburano, H., Matsuoka, Y., Hitaka, T.



発表年	論文名	発表誌名	共著者
2008	Shake Table Experimental Project on the Seismic Performance of Bridges Using E-Defense	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Kawashima, K., Ukon, H., Kajiwara, K.
2008	Seismic Resistance Capacity of High-Rise Buildings Subjected to Long-Period Ground Motions - E-Defense Shaking Table Test	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Chung, Y., Nagae, T., Fukuyama, K., Kajiwara, K., Inoue, T., Hitaka, T.
2008	Seismic Force Reduction Factor for Equivalent Static Design of Chevron-Braced Steel Frames	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Li, Y., Wang, T., Kato, M., Hitaka, T.
2008	Permissible Residual Deformation Levels for Building Structures Considering Both Safety and Human Elements	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	McCormick, P., Aburano, H., Ikenaga, M.
2008	An outline and Benefit of Research Collaboration between NEES and E-defense	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Leon, R. T.
2008	Hysteretic Behavior and Strength Capacity of Shallow Embedded Steel Column Bases	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Cui, Y., Yamamoto, R., Uemura, T., Nagae, T., Hitaka, T.
2008	Friction Coefficient for Exposed Column Base Design	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Ikenaga, M., Nagae, T., McCormick, J., Zhang, P., Katsuo, M.
2008	Condition Assessment Application of Steel Shear Walls with Slits	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Jacobsen, A., Hitaka, T., McCormick, J., Wang, T., Murata, Y.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2008	Behaviors of Nonstructural Components in Seismic Responses of High-Rise Buildings - E-Defense Shaking Table Test	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	Nagae, T., Kajiwara, K., Fujitani, H., Fukuyama, K., Kawabe, H.
2008	Roles of Large Structural Testing for the Advancement of Earthquake Engineering	Proceedings of the Fourteenth World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China, October 2008	
2009	Reduction of Residual Story Drift of Moment Resisting Frame using Self-centering Column Bases	Proceedings of Seventh International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Philadelphia, PA, USA, August 2009, pp.465-471	Ikenaga, M, Nagae, T.
2009	Seismic Behavior of Steel Shear Plates Stiffened by Wood Panels	Proceedings of Seventh International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Philadelphia, PA, USA, August 2009, pp.623-628	Hitaka, T., Ito, M., Murata, Y
2009	Effect of Gravity Columns on Mitigation of Story Drift Concentration	Proceedings of Seventh International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Philadelphia, PA, USA, August 2009, pp.303-309	
2009	Simulation of E-Defense full-scale shake-table test results of moment-resisting steel frame	Proceedings of Sixth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Philadelphia, PA, USA, August 2009, pp.137-143	Hikino, T., Ohsaki, M., Kasai, K.
2009	Seismic Reduction Factors for Equivalent Static Design of Braced Frames	Proceedings of Sixth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Philadelphia, PA, USA, August 2009, pp.899-905	Wang, T., Kato, M., Ji, X., Hitaka, T.
2010	Comparison of US and Japanese Codes and Practices for Seismically Isolated Buildings	Proceedings of ASCE Structures Congress, Orlando, FL, USA, May 2010	Becker, T. C., Furukawa, S., Mahin, S. A.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2010	Roles of Large-Scale Shaking Table Testing for Verification of Advanced Technologies on Structural Control and Monitoring”, Proceedings of the Fifth World Conference on Structural Control and Monitoring, Tokyo, Japan,	Proceedings of the Fifth World Conference on Structural Control and Monitoring, Tokyo, Japan, June 2010	Ji, X., Lignos, D.
2010	Development of Shaking Table Test Techniques to Realize Large Responses and to Control the Reproduced Response	Proceedings of the Fifth World Conference on Structural Control and Monitoring, Tokyo, Japan, June 2010.	Enokida, R. Ji, X., Kajiwara, K., Nagae, T.
2010	Development of Slitted Shear Walls for Condition Assessment	Proceedings of the Fifth World Conference on Structural Control and Monitoring, Tokyo, Japan, June 2010	Jacosen, A.
2010	Seismic Damage Detection of a Full-Scale Shaking Table Structure	Proceedings of the Fifth World Conference on Structural Control and Monitoring, Tokyo, Japan, June 2010[101] Nitta, Y., Nishitani, A., Nagae, T., Ji, X.	Ji, X., Fenves, G., Kajiwara, K.
2010	Damage Detection of Beam-Column Joint in Full-Scale Model Building Experiments	Proceedings of the Fifth World Conference on Structural Control and Monitoring, Tokyo, Japan, June 2010	Nitta, Y., Nishitani, A., Nagae, T., Ji, X.
2011	Out-of-Plane Stability of Buckling-Restrained Braces	Proceedings of ASCE Structures Congress, Las Vegas, NV, USA, April 2011, pp.938-949	
2011	Online Hybrid Test on buildings with Stud-Type Damper made of Slitted Steel Plates Stiffened by Proceedings of Twelveth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC-12) Building a Sustainable Environment, HongKong, China, January 2011 Wood Panels	Proceedings of Twelveth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC-12) Building a Sustainable Environment, HongKong, China, January 2011	Ito, M., Murata, Y., Hoki, K.
2012	Strength of Headed Studs in Composite Structural Connection with SFRCC	Proceedings of Seventh International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Santiago, Chile, January 2012, pp.653-659	Luo, Y., Song, S., Cui, Y., Hoki, K.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2012	Beam-to-column Connection for Built-up Column using Ultra-high-strength Steel	Proceedings of Seventh International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Santiago, Chile, January 2012, pp.187-193	Lin, X., Chung, Y., Okazaki, T.
2012	Seismic Loss of Functionality in High-rise and Low-rise Office Buildings: the 2011 E-Defense Shaking Table Test	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Yoshizawa, M., Nagae, T., Fukuyama, K., Inoue, T., Kajiwara, K., Saito, T., Fukuwa, N., Kitamura, H.
2012	Development of Hybrid Floor Isolation System with Semi-active Control	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Shi, Y., Enokida, R., Sato, E.
2012	Sato, E., Sakai, H., Inoue, T., Kakehi, A., Kobayashi, K., Kosuge, R., Furukawa, S.	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Sato, E., Sakai, H., Inoue, T., Kakehi, A., Kobayashi, K., Kosuge, R., Furukawa, S.
2012	Development of Slitted Steel Shear Walls capable of Detecting Damage Stages	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Okamura, T., Kurata, M.
2012	Combined Compression and Bending Behavior of Built-up Columns using High-strength Steel	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Lin, X., Hayashi, K., Okazaki, T., Chung, Y.
2012	E-Defense Shaking Table Tests on Steel High-rise Building Retrofitted by Dampers against Long-period Ground Motions	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Sato, D., Shimada, Y., Ouchi, H., Oshita, Y., Kitamura, H., Nagae, T., Fukuyama, K., Kajiwara, K., Inoue, T., Saito, T., Fukuwa, N.
2012	Stiffening Methods for Enhancement of Hysteretic Performance of Slitted Steel Shear walls	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Ito, M., Taniguchi, Y., Tsuboyama, N., Hoki, K.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2012	Evaluation of Tsunami load and Building Damage Mechanism Observation in the 2011 Off Pacific Coast of Tohoku Earthquake	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Hayashi, K., Tamura, S., Chung, Y., Hoki, K.
2012	Structural and Equipment Performance of Base-isolated Medical Facility subjected to Strong Vertical Ground Motions	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Furukawa, S., Sato, E., Shi, Y.
2012	Development of Free Standing Steel Structure using Kinematic Friction of Steel-mortar	Proceedings of the Fifteenth World Conference on Earthquake Engineering, Lisbon, Portugal, September 2012	Enokida, R., Inami, M., Nagae, T., Ikenaga, M.
2013	Needs of Physical Evidences for Advancement of Steel Research	Proceedings of Tenth Pacific Structural Steel Conference, Singapore, October 2013	Po-Chien Hsiao
2014	Research Needs for Earthquake Engineering and Current Research and Development Efforts in Japan	Proceedings of Fifth Asia Conference on Earthquake Engineering, October 2014	Luo, Y.
2015	Design Procedure for Stiffening Panels of Slitted Steel Shear Wall	Proceedings of 2015 IABSE Conference, Nara, Japan, May 2015, Paper#SS10	Ito, M., Hayashi, K.
2015	Seismic Retrofit of Steel Frames with Minimal-Disturbance	Proceedings of 2015 IABSE Conference, Nara, Japan, May 2015, Paper#NT2	Seismic Retrofit of Steel Frames with Minimal-Disturbance, Proceedings of 2015 IABSE Conference, Nara, Japan, May 2015, Paper#NT2
2015	Design and Application of a Minimal-Disturbance Seismic Rehabilitation Techniques Composed of Light-Weight Steel Elements	Proceedings of Eighth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Shanghai, China, July 2015, pp.1436-1442	Zhang, L., Kurta, M., Sato, M., Lavan, O.

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2015	Ten Yeas of E-Derfense Activities - Collpase, Functionality, and Resilience	Proceedings of Eighth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Shanghai, China, July 2015, pp.25-31	Okazaki, T.
2015	Modeloling of Post-Local Buckling Behavior of Beam Columns with Hollow Steel Section	Proceedings of Eighth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Shanghai, China, July 2015, pp.1077-1083	Bai. Y., Kurata, M.
2015	Design and Application of a Minimal-Distervance Seismic Rehabilitation Techniques Composed of Light-Weight Steel Eements	Proceedings of Eighth International Conference on Behavior of Steel Structures in Seismic Areas, Shanghai, China, July 2015, pp.1436-1442	Zhang, L, Kurta, M., Sato, M., Lavan, O.
2015	Lessons from Recent Earthquakes and New Initiatives toward More Resilient Society - A Japanese View	Proceedings of the Ninth Pacific Conference on Earthquake Engineering, Sydney, Australia, November 2015	

国内会議論文

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1985	電算機—アクチュエーター—オンライン実験装置による構造物の地震応答シミュレーション手法の精度評価	第7回電子計算機利用シンポジウム論文集, 日本建築学会, 1985年3月, pp.199-204	加藤博人・上之菌隆志
1985	部分構造物を対象とした電算機—アクチュエーター—オンライン実験による全体構造物地震時応答の再現手法	第7回電子計算機利用シンポジウム論文集, 日本建築学会, 1985年3月, pp.205-210	高井秀博
1986	仮動的実験手法の地震応答精度	第7回電子計算機利用シンポジウム論文集, 日本建築学会, 1985年3月, pp.205-210	加藤博人
1990	仮動的実験手法の地震応答精度	第7回日本地震工学シンポジウム論文集, 1986年12月, pp.1273-1278	加藤博人
1990	鉄骨部材の復元力特性に及ぼす荷重速度の影響	第8回日本地震工学シンポジウム論文集, Vol.2, 1990年12月, pp.1389-1394	増田匡
1990	鉄骨柱材の塑性変形能力に対する統計的評価	第8回日本地震工学シンポジウム論文集, Vol.2, 1990年12月, pp.2055-2060	森野捷輔・坂井一弘
1992	構造設計基準のコンピュータへの記述とその応用	第15回情報システム利用技術シンポジウム論文集, 日本建築学会, 1992年12月, pp.79-84	山脇克彦・朝倉大樹・辻文三
1993	ひずみ硬化を考慮した鉄骨柱部材の耐力評価	鋼構造年次論文報告集, 第1巻, 1993年7月, pp.615-622	前田泰史・辻文三
1993	鉄骨筋違材の座屈後耐力の推定	鋼構造年次論文報告集, 第1巻, 1993年7月, pp.163-170	西野孝仁・辻文三
1994	Extension of Integration Methods for Pseudo Dynamic Testing with Substructuring Techniques	Proceedings of the 43rd National Congress of Theoretical and Applied Mechanics, January 1994, pp.573-576	
1994	準静的ジャッキを用いた仮動的実験の開発	第9回日本地震工学シンポジウム, 1994年12月, Vol.2, pp.1513-1518	赤澤隆士・五十嵐秀一・阪口理

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1994	水平力を受ける鉄骨骨組における構造部材への要求塑性変形とその変動	第9回日本地震工学シンポジウム, 1994年12月, Vol.2, pp.2065-2070.	加登美喜子・辻文三
1995	鉄骨骨組への要求塑性変形とその変動の定量化(その1.提案手法の提案)	JCOSSAR'95論文集, 日本建築学会, 1995年11月, pp.219-224	加登美喜子・森保宏・辻文三
1995	鉄骨骨組への要求塑性変形とその変動の定量化(その2.提案手法の精度と要求塑性変形のばらつき)	JCOSSAR'95論文集, 日本建築学会, 1995年11月, pp.225-232	加登美喜子・森保宏・辻文三
1995	阪神・淡路大震災による鉄骨造建物被害と今後の課題	シンポジウム耐震設計の一つの新しい方向, 日本建築学会, 1995年10月, pp.15-29	
1998	多自由度系に対するリアルタイムオンライン応答実験	第10回日本地震工学シンポジウム論文集, 1998年11月, Vol.2, pp.2235-2240	政岡暢昭
1998	ひずみ硬化の荷経路依存性を考慮した履歴モデル	第10回日本地震工学シンポジウム論文集, 1998年11月, Vol.2, pp.2129-2134	赤澤隆士・阪口理
1999	鉄骨造建物の溶接が抱える問題—問題の所在と解決への努力—	溶接構造シンポジウム1999年講演論文集, 日本溶接学会, 1999年12月, pp.21-27	
2000	鋼構造建築物・部材に要求される塑性変形の定量化に向けて	第3回鋼構造物の非線形数値解析と耐震設計の応用に関する論文集, 土木学会, 2000年1月, pp.1-16	
2001	鋼梁の完全崩壊挙動	鋼構造年次論文報告集, 第9巻, 2001年11月, pp.557-562	劉大偉・金尾伊織
2001	繰り返し荷を受けるH形鋼標準梁・RBS梁の横座屈と座屈後挙動	鋼構造年次論文報告集, 第9巻, 2001年11月, pp.551-556	金尾伊織・劉大偉
2002	鉄骨品質の基本問題—コスト意識の高揚なくして鋼構造に未来はありうるか—	鉄骨シンポジウム論文集—品質・生産性を考慮した鉄骨の設計・施工技術, 日本鋼構造協会, 2002年4月, pp.1-6	川口淳・桑原進



発表年	論文名	発表誌名	共著者
2002	Optimal Sensor Placement for Building Structural Damage Assessment	第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 2002年11月, #368	Xie, Q., Xue, S.
2002	断層近傍強震動を受ける鋼構造骨組の地震応答とモーダル分解による評価	第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 2002年11月	松宮智央・浅野幸一郎
2002	繰り返し载荷を受ける鋼柱の完全崩壊実験	第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 2002年11月	劉大偉・金尾伊織
2002	ロープで連結された建物群の振動性状	第11回日本地震工学シンポジウム論文集, 2002年11月	篠原達巳・諸岡繁洋
2003	静的解析・設計における最大変形の評価 - その限界と効用 -	地震荷重-性能設計への展望-論文集, 構造委員会振動運営委員会地震荷重小委員会, 2003年11月	加登美喜子
2004	耐震規準のグローバリゼーションとわが国の戦略	第7回地震時保有耐力法に基づく橋梁等構造の耐震設計に関するシンポジウム講演論文集, 土木学会地震工学委員会, 2004年1月, pp.1-4	
2004	耐震設計のグローバリゼーション-海を越えた競争と連携-	第50回構造工学シンポジウム建築・土木合同パネルディスカッション資料, 2004年4月, pp.36-41	
2004	柱梁接合部に溶接欠陥を有する鋼構造実大骨組の損傷と終局挙動	鋼構造年次論文報告集, 第12巻, 東京, pp.155-162, 2004年11月	吹田啓一郎・佐藤有希・長田暢浩・松宮智央
2004	セルフセンタリング機構を用いた鋼構造骨組の地震応答性状	鋼構造年次論文報告集, 第12巻, pp.163-168, 2004年11月	池永昌容・松宮智央・倉田真宏・吹田啓一郎
2005	構造工学の発展に大型構造実験は寄与できるか - 期待と不安	構造工学論文集, 2005年4月, pp.1-7	
2005	層降伏するピロティ階の確率論的地震応答評価	コンクリート工学年次報告集, Vol.27, No.2, pp.43-48, 2005	長江拓也・林静雄・Helmut Krawinkle

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2006	長軽量鉄骨下地間仕切り壁の耐震・修復性能実証実験	第12回日本地震工学シンポジウム論文集, 2006年	加登美喜子・松宮智央・吹田啓一郎・松岡祐一
2006	損傷制御と残留変形低減を確保するためのセルフセンタリング柱脚機構	第12回日本地震工学シンポジウム論文集, 2006年.	池永昌容・長江拓也・松岡祐一・吹田啓一郎
2010	Collapse Assessment of Steel Moment Frames Based on E-Defense Full Scale Shaking Table Collapse Tests	第13回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, pp.1245-1252	Lignos D., Hikino, T., Matsuoka, Y.
2010	Cumulative Rotation Capacity of Beam-to-Column Connections with RC Floor Slabs	3回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, pp.1379-1383	Chung, Y., Matsumiya, T., Naga, T., Fukuyama, K.
2010	Design of Unequally Slitted Steel Shear Walls for Monitoring Applications	第13回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, pp.1552-1559	Jacobsen, A., Okamura, T.
2010	Mechanical Behavior of Headed Studs Clusters in Steel Fiber Reinforced Cementitious Composite Slab	第13回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, pp.2897-2904	Cui, Y., Luo, Y., Tai, T., Song, S.
2010	超高層建物に関するE-ディフェンス振動台実験	第13回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, pp.2677-2684	長江拓也・福山國夫・梶原浩一・井上貴仁・斉藤大樹・北村春幸・福和伸夫
2010	震災時における医療施設の機能保持検証のための実大震動台実験－施設内機器の応答と被害について－	第13回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, pp.655-659	佐藤栄児・酒井久伸・古川幸・井上貴仁・福山國夫・笈淳夫・小林建一
2010	Amplification of Floor Response of Base-Isolated Buildings Subjected to Vertical Motion	第13回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, 筑波, pp.550-555	Furukawa. S., Sato, E.
2010	振動台限界を超える高振動数入力を実現する振動台実験手法	第13回日本地震工学シンポジウム論文集, 2010年11月, 筑波, pp.2266-2270.	榎田竜太・梶原浩一・長江拓也
2010	スリット入り鋼板ダンパーに対する等価平板モデルの構築	鋼構造年次論文報告集, 第18巻, 2010年11月, pp.355-360	伊藤麻衣・坪山紀子・保木和明
2010	SFRCCを外ダイアフラムとして用いる柱梁接合部の耐力評価	鋼構造年次論文報告集, 第18巻, 2010年11月, pp.69-76	田井暢・宋書海・崔瑤・羅雲標

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2010	損傷評価性能を有する鋼板耐震壁のエネルギー消費性能の向上	鋼構造年次論文報告集, 第18巻, 2010年11月, pp.721-728	岡村拓弥・倉田真宏
2010	SFRCCと密に配置したスタッドによる接合耐力に関する実験的検討	鋼構造年次論文報告集, 第19巻, 2011年11月, p.215-220	羅雲標・保木和明・宋書海・崔瑤
2011	Experimental Study on Flexural Capacity of Built-Up Columns Using High-Strength Steel	鋼構造年次論文報告集, 第19巻, 2011年11月, pp.685-690	Lin, X., Okazaki, T., Chung, Y. L.
2012	Effects of Fiber Volume Ratio and Reversed Cyclic Loading on Behavior of Steel Stud-SFRCC Composite Connection	鋼構造年次論文報告集, 第20巻, 2012年11月, p.189-194	Luo, Y., Hoki, K., Hayashi, K.
2012	Experimental Study on Built-Up Columns Using High-Strength Steel Subjected to Combined Bending and Axial Force	鋼構造年次論文報告集, 第20巻, 2012年11月, p.699-704	Lin, X., Hayashi, K., Okazaki, T., Enomoto, R.
2013	Dual Functional Steel Slit Shear Wall with X-Shaped Links	鋼構造年次論文報告集, 第21巻, 2013年11月, pp.679-684	He, L., Kurata, M., Fukihara, K., Hayashi, K.
2013	Analysis and Design of Steel Beam-to-Column Connections Rehabilitated with SFRCC	鋼構造年次論文報告集, 第21巻, 2013年11月, pp.581-586	Luo, Y., Hayashi, K., Hoki, K., Kurata, M.
2014	超高強度鋼を用いた中空CFT 柱部材の曲げ圧縮性能	日本鋼構造協会鋼構造年次論文報告集, 第22巻, 2014年11月, pp.404-409	西亮祐・林和宏・榎本龍介・林旭川
2014	健全性判定機能を有する履歴ダンパーの性能向上	日本鋼構造協会鋼構造年次論文報告集, 第22巻, 2014年11月, pp.404-409	東郷拓真・和留生・倉田真宏・林和宏

著作・編集

発表年	著書名	発表誌名	共著者
1985	柱はり材（11章）	鉄骨構造学詳論，若林實編著，丸善株式会社，1985年5月	（分担）
1992	Analysis and Design of Steel Braces and Braced Frames in Building Structures	Stability and Ductility of Steel Structures Under Cyclic Loading, edited by Fukumoto, Y. and Lee, G. C., CRC Press, 1992, pp.309-321	Wakabayashi, M.（分担）
1992	鉄骨柱材の耐力と塑性変形能力（4章）	鋼構造物の座屈に関する諸問題，日本建築学会，1992年4月，pp.41-67	森野捷輔（分担）
1992	Dynamics (Chapter 5.1)	Constructional Steel Design - An International Guide, edited by Dowling, P. J., Harding, J. E., and Bjorhovde, R., Elsevier Applied Science, December 1992, pp.555-573	Wakabayashi, M.（分担）
1995	1995年兵庫県南部地震災害調査速報	日本建築学会，1995年3月，193pp	竹内吉弘他（編集）
1995	Preliminary Reconnaissance Report of the 1995 Hyogoken-Nanbu Earthquake	The Architectural Institute of Japan, April, 1995, 216pp	Bruneau, M.,（編集）
1996	柱材（5章），骨組（8章）	鋼構造座屈設計指針，日本建築学会，1996年1月，367pp	（分担）
1996	鉄骨構造（5.3.2節）	1994年ノースリッジ地震被害調査報告書，日本建築学会，1996年3月，pp.190-202	（分担）
1996	兵庫県南部地震と米国ノースリッジ地震における破断モードの比較（4.1節）	兵庫県南部地震における鋼構造物の被害と教訓，日本建築学会，1996年7月，pp.55-68	（分担）

発表年	著書名	発表誌名	共著者
1996	鋼構造と耐震性，都市震災と防災システム - 阪神・淡路大震災からえた教訓	クバプロ，1996年8月， pp.130-142	(分担)
1996	建物被害の分布，特徴，そして今後の課題，阪神・淡路大震災と地震の予測	深尾良夫・石橋克彦編，岩波書店，1996年8月， pp.64-69	(分担)
1996	阪神・淡路大震災における住宅の被害	地震に強い家づくり町づくり（阪神・淡路大震災に学ぶもの，彰国社，1996年8月，pp.14-34	(分担)
1996	兵庫県南部地震の教訓（1.4節）	動的な外乱に対する設計の展望，日本建築学会，1996年11月，pp13-16	(分担)
1997	阪神・淡路大震災調査報告（建築編 - 3：鉄骨造建造物）	日本建築学会，1997年10月，410pp	桑村仁（編集）
1997	鉄骨造建物・部材がもつ塑性変形能力の要求さ	統計・確率論と信頼性理論の構造設計工学における応用（坂本順教授退官記念論文集），名古屋大学工学研究科建築学専攻，1997年，pp.225-240	(分担)
1998	Post-Earthquake Analysis on Damage to Steel Beam-to-Column Connections Observed in the 1995 Hyogoken-Nanbu Earthquake	Stability and Ductility of Steel Structures, edited by Usami, T. and Itoh, Y., Pergamon, 1998, pp.371-378	Yamao, K., Minami, T., (分担)
1998	部材の区分（2.2節），軸方向力と曲げモーメントの組合せを受ける材（3.4節，4.4節）	鋼構造限界状態設計指針，日本建築学会，1998年10月，335pp.	(分担)
1999	鉄骨造建物の被害(5.1.2節)	阪神・淡路大震災調査報告（建築 - 総集編），日本建築学会，1999年12月	桑村仁（分担）
2001	建物の免震	防災学ハンドブック第5.3節「耐震設計」，朝倉書店，2001年5月，pp.414-416	
2001	鋼構造建物	防災学ハンドブック第5.3節「耐震設計」，朝倉書店，2001年5月，pp.399-401	

発表年	著書名	発表誌名	共著者
2001	性能設計	防災学ハンドブック第5.3章 「耐震設計」, 朝倉書店, 2001年5月, pp.394-397	
2001	APPENDIX C. Overview of Damage to Steel Building Structures Observed in the 1995 Kobe Earthquake	Past Performance of Steel Moment-Frame Buildings in Earthquakes, Federal Emergency Management Agency, Report FEMA-355E, June 2001, pp.C-1-C24	
2001	指針の概要 (1章)	鋼構造接合部設計指針, 日本建築学会, 2001年11月, pp.1-24	(分担)
2001	柱梁接合部破断を伴う鋼構造ラーメンの挙動 (9章)	鋼構造物の座屈に関する諸問題2001, 日本建築学会, 2001年12月, pp.78-94	(分担)
2002	鋼構造 (I.3), 建築の構造	ビジュアル版建築入門3, 彰国社, 2002年7月, pp.126-33	(分担)
2002	防災事典	築地書館, 2002年7月	(分担)
2003	鋼構造設計演習	技報堂出版, 2003年6月, 300pp	(編集)
2003	建物と耐震設計 (5章)	防災学講座2地震災害論, 京都大学防災研究所編, 山海堂, 2003年9月, pp.122-144	(分担)
2003	Special Issue - Post-Kobe Seismic Design and Construction of Japanese Building Structures	Journal of Earthquake Engineering and Engineering Seismology, Chinese Taiwan Society for Earthquake Engineering, Vol.4, No.1, September 2003	Guest Editor
2004	高力ボルト接合設計施工ガイドブック	日本建築学会, 2004年1月, 145pp	(編集)

発表年	著書名	発表誌名	共著者
2004	Steel Buckling-Restrained Braced Frames, Chapter 16	Earthquake Engineering from Engineering Seismology to Performance-Based Engineering, Edited by Bozorgnia, Y. and Bertero, V. V., 2004, pp.16.1-16.37	Uang, C. M.
2004	構造物の耐震性を高めるための最近の技術	ここまで進んだ日米の都市地震防災, 第19回「大学と科学」公開シンポジウム, 2004年11月, pp.24-26	
2004	Roles of Large-Scale Tests for Assessment of Seismic Performance	Performance-Based Seismic Design Concepts and Implementation, Proceedings on an International Workshop, Bled, Slovenia, June 28 to July 1, 2004, pp.269-280	Matsumiya, T., Liu, D., Suita, K.
2004	Advanced Steel for use in Civil Engineering	Advanced Civil Infrastructure Materials: Science, Mechanics and Applications, edited by H. C. Wu, Woodhead Publishing Ltd., 2004, pp.30-62	Roeder, C. W.
2005	溶接開先標準 (JSS I 03-2005)	日本鋼構造協会, 2005年12月	(編集)
2006	構造物の耐震性を高めるための最新の技術, ここまで進んだ日米の都市地震防災	クバプロ, 2006年1月, pp.46-56	(分担)
2006	性能規定型耐震設計 - 現状と課題	日本地震工学会性能規定型耐震設計法に関する研究委員会編, (3.1節, 4.5節担当), 鹿島出版会, 2006年6月, 253pp	(分担)
2006	地震防災のはなし	都市直下地震に備える, 岡田恒男・土岐憲三編, 「建物は神戸でどう壊れたか」, 「安全性のチェック - 建物の耐震診断」, 「応急危険度判定」, 「高層ビルは大丈夫か」, 「ハイテク耐震補強 - 免震」, 2006年7月, pp.42-43, pp.54-57, pp.72-73, pp.142-145	(分担)
2007	実大三次元震動破壊実験	自然災害の辞典, 岡田義光編, 朝倉書店, 2007年1月, pp.162-176	梶原浩一・田端憲太郎

発表年	著書名	発表誌名	共著者
2007	構造特性係数と構造物の変形	地震荷重 - 性能設計への展望, 第4章, 日本建築学会, 2007年3月, pp.69-75.	
2011	E - ディフェンス	自然災害と防災の事典, 丸善, 2011年12月, pp.51-52	
2011	強震動と構造物の被害 (2.2.1節)	自然災害と防災の事典, 丸善, 2011年12月, pp.33-38	
2014	A Lesson from the 2011 Tohoku Earthquake - The Necessity for Collaboration and dialog Among Natural Scientists, Engineers, Social Scientists, Government Agencies, and the General Public	Chapter 8, Performance-Based Seismic Engineering: Vision for an Earthquake Resilient Society, Editor, M. Fischinger, Springer, 2014, pp.223-236	Becker, T. C., Nagae, T., Matsumiya, T.



評論・解説

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1982	大型建築構造物実験施設目録(I)	建築の研究, 第31巻, 1982年5月, pp.13-14	
1982	大型建築構造物実験施設目録(II)	建築の研究, 第32巻, 1982年7月, pp.14-15	
1983	日本と世界の大型耐震実験施設	コンクリート工学, 第21巻, 11号, 1983年12月, p.113	
1987	西ドイツの構造技術者教育と耐震の研究	建築技術, 1987年6月号, pp.66-68	
1987	西ドイツの建設会社	建築技術, 1987年7月号, pp.189-190	
1987	耐震実験の動向	建築防災, 1987年10月号, p.1	
1989	花の万博を通じて国際化の推進を	建設月報, 1989年8月, pp.12-13	
1991	日本の建築技術を支える超大型構造物実験	神戸大学工学部公開講座, 1991年8月, 神戸大学工学部, pp.90-99	
1991	世界の建築教育2 - 米国の建築教育事情(リーハイ大学ほかを例にとって)	建築雑誌, 1991年10月, pp.54-55	
1993	第1回世界鋼構造設計会議に出席して	地震工学ニュース, 建築研究振興協会, 1993年4月, pp.31-33	
1993	ビジュアルプレゼンテーション - 構造設計規準をコンピュータにかく	建築雑誌, 日本建築学会, 1993年6月号, p.1	
1994	特集 - 建築の耐震コストを読んで	建築雑誌, 日本建築学会, 1994年6月号, p.57	
1994	ノースリッジ地震 - 鉄骨接合部の被害 -	建築技術, 1994年8月, pp.66-73	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1995	鉄骨建物被害調査の進捗状況	建築雑誌，日本建築学会，1995年5月号，pp.32-33	
1995	鋼構造物にみる阪神大震災の教訓	JSSCジャーナル，日本鋼構造協会，No.16，1995年4月，pp.22-35	
1995	鉄骨造建物の被害 - 米国ノースリッジ地震と兵庫県南部地震からみる被害の特徴と相異点	GBRCジャーナル，日本建築総合試験所，1995年4月，23巻，第3号，pp.4-15	
1995	阪神・淡路大震災にみる建物の被害	1995年兵庫県南部地震 - 近代都市直下に起こった大地震の報告 - ，月刊地球号外，海洋出版，No.13，1995年，pp.200-206	
1995	兵庫県南部地震初動調査の概要	建築雑誌，日本建築学会，1995年9月号，p.21	竹内吉弘
1995	兵庫県南部地震における鉄骨建物被害とその教訓	地震工学ニュース，1995年9月号，pp.12-13	
1995	鉄骨造建物被害の様相と今後の課題	鉄鋼界，日本鉄鋼連盟機関誌，1995年10月，pp.23-28	
1995	鋼構造の耐震性，都市震災と防災システム - 阪神・淡路大震災から得た教訓	大学と科学公開シンポジウム予稿集，1995年10月，pp.35-37	
1995	わが家の地震対策	日本建築学会，1995年11月，pp.41	坂本功・岡田恒男・渡邊史夫（編者）
1995	鉄骨造建物にみる被害の特徴とわれわれに突きつけられた課題	安全工学，Vol.34，No.6，1995年11月，pp.453-458	
1995	鉄骨建物被害の教訓と対策	建築防災，No.214，1995年11月，pp.25-28	
1996	建物の分布，特徴，そして今後の課題	岩波の科学，Vol.66，No.2，1996年2月，pp.114-119	
1997	リアルタイムオンライン応答実験	建築雑誌，日本建築学会，Vol.112，No.14043，1997年3月，p.66	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
1997	鉄骨構造部会 (Equal PartnershipとCommon Voiceの形成をめざして)	日本建築学会近畿支部50周年記念 - 50年の歩みと未来への展望, 日本建築学会近畿支部, 1997年11月, p.47	
1998	米国ノースリッジ地震との類似点と相異点そして我彼のゆく道の違い	Structures, 日本建築構造技術者協会, No.65, 1998年1月, pp.47-49	
1999	建築構造実験技術 - 今と昔	建築雑誌, 1999年6月, Vol.114, No.1437, pp.22-23	
1999	建築物と鉄道の接点 - 安全性の相関	第29回安全工学シンポジウム講演予稿集, 日本学術会議, 1999年7月, pp.23-24	
2000	921集集 (台湾) 地震における建物被害	JSSCジャーナル, 日本鋼構造協会, 第35号, 2000年1月, pp.25-27	
2000	建築・土木分野における鋼構造物の耐震性能評価の相違点・共通点(2)	JSSCジャーナル, 日本鋼構造協会, 36号, 2000年4月, p.18	
2000	透明性の高いコスト計算なくして品質確保はありえるか	建築技術, 606号, 2000年8月, pp.160-162	
2000	建築・土木分野における鋼構造物の耐震性能評価の相違点・共通点(3)土木建築の垣根を越えて	JSSCジャーナル, 日本鋼構造協会, 37号, 2000年7月, pp.47-48	伊藤義人
2000	どこへ行く建築教育	建築雑誌, 2000年12月, Vol.15, No.1463, p.41	
2001	STESSA2000報告	鉄鋼技術, 鋼構造出版, 第14巻, 152号, 2001年1月, pp.42-46	吹田啓一郎
2001	国際共同研究紹介 - 日米共同研究による都市地震災害の軽減	学術月報, 第54巻, 第6号, 2001年6月, pp.92-97	亀田弘行
2001	米国建設系学部教育事情とABET審査	建築雑誌, Vol.16, No.1470, 2001年7月, pp.94-99	
2001	建築と土木の棲み分けと連携 - 建築と土木の違い: 耐震設計 -	土木学会誌, Vol.86, 2001年10月, pp.26-29	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2001	建築と土木の棲み分けと連携 - 建築と土木の違い：耐震設計 -	建築雑誌, Vol.116, No. 1473, 2001年10月, pp.20-22	
2002	新著・旧著紹介：チョブラ：構造物の動的解析～その基礎から応用まで～	建築の研究, 第150号, 2002年4月, pp22	
2002	UC Berkeley - CUREE Symposium in Honor of Ray Clough and Joseph Penzien	震災予防, 第185号, 2002年7月, pp.1-2	岡崎太一郎
2002	建築物の耐震設計—快適な生活空間を提供しつつ人の命を地震からどう守るか	サイスモ, (財)地震予知総合研究振興会, 2002年11月, pp.5-8	
2003	財務の観点から性能規定型工学手法とその適用	Structures, 日本建築構造技術者協会, No.65, 2003年10月, pp.47-49	Ruis, E.・Comartin, C.・日下彰宏・岡本達雄・近藤一雄・森高英夫
2003	巻頭座談会 - 建築構造学の夢と憂い	建築雑誌, 118巻, 1511号, 2003年11月, pp.8-17	壁谷澤壽海・田村幸雄・寺本隆幸・翠川三郎
2004	再考：建築鉄骨の品質確保その1 - 品質問題の背景と鉄骨製作の現状と問題点	鉄構技術, 第17巻, 188号, 2004年1月, pp.50-55	川口淳・桑原進
2004	「明日を拓く技術」と「今を支える技術」の違いをみすえた大学教育を	Structures, 日本建築構造技術者協会, No.90, 2004年4月, pp.36-37	
2004	「再考：建築鉄骨の品質確保」 その4 品質確保のための検査技術革新への道	鉄構技術, 第17巻, 192号, 2004年5月, pp.24-31	
2005	建築技術教育の行く道とグローバル化への備え	建築雑誌, 120巻, 1537号, 2005年9月, pp.27-29	
2006	Test on Collapse Behavior of Structural Systems	Sicence & Technology in Japan, No.96, January 2006, pp.14-19	
2006	1995年（平成7年）兵庫県南部地震被害調査	建築雑誌, Vol. 121, No. 1546, 日本建築学会, 2006年4月, p.13	
2006	鋼構造を担う若手技術者の教育現場における変化と課題そして展望	JSSCジャーナル, 日本鋼構造協会, No.61, 2006年8月, pp.1-11	
2007	座談会 構造実験からのものづくり - 鋼構造	建築雑誌, Vol. 122, No. 1567, 日本建築学会, 2007年10月, p.16-21	梅沢良三・松本由香

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2008	多様化を求められる大学，教育義務を果たさなければならぬ大学 - 京都大学防災研究所の場合	Structure，日本構造技術者協会，No.106，2008年4月，pp.48-53	
2008	耐震工学にも横たわる溝 - それをいかに越えるのか	地震ジャーナル，地震予知総合研究振興会，46号，2008年12月，p.1	
2009	教育のグローバル化にわが国の建築教育はどう立ち向かうのか - そして日本建築学会が果たすべき役割はいかに -	建築雑誌，Vol.124，No.1588，2009年3月，p.6	
2009	若林實先生のご逝去を悼む	建築雑誌，Vol.123，2009年4月，p.54	
2009	E - ディフェンスの挑戦-耐震工学研究のブレークスルー	地震調査研究推進本部ニュース，2009年4月，8-9	
2009	地震防災・地震工学の発展に大型構造実験は欠かせない・・・はずだ	日本地震工学会誌，2009年7月，No.10，pp.2-7	
2009	免震の実力・・・擬似被害地震から学ぶ	免震協会，No.66，2009年10月，pp.1-2	
2010	構造委員会の活動	建築雑誌，Vol.124，2010年9月，p.67-68	
2010	構造委員会のあゆみ	建築雑誌，Vol.124，2010年9月，p.37-38	
2010	大型耐震構造実験に巡り合わせた幸運	未来材料，Vol.10，No.12，2010年12月，pp.49-52	
2011	この10年の被害地震を振り返って・・・日本地震工学会に与えられた使命を考える	日本地震工学会誌，No.13，2011年1月，p.43-44	
2011	発刊のことば	防災研究所年報，2011年4月	
2011	東日本大震災を経験して—防災研究所のこれからの取り組み—	京都大学防災研究所ニューズレター，No.60，2011年5月，pp.2-3	
2011	東日本大震災を経験して - 地震防災のこれから	経団連Trend，2011年8月，pp.20-22	
2011	構造委員会のあゆみ - 2010年度	建築雑誌，第126巻，No.1622，2011年9月，p.57	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2011	構造委員会の活動	建築雑誌，第126巻，2011年9月，pp.76-77	
2011	建築の原点に立ち返る - 暮らしの場の再生と革新 - 東日本大震災に鑑みて（第一次提言）	建築雑誌，第126巻，No.1623，日本建築学会，2011年10月，pp.59-64	
2011	JSCA（日本建築構造技術者協会）とAIJ（日本建築学会構造委員会）との協調と連携	Structure，日本建築構造技術者協会，No.120，2011年10月，pp.8-9	
2011	発刊のこたば	防災研究所60年史巻頭言，2011年11月，pp.1	
2011	刊行の辞	自然災害と防災の事典，丸善，2011年12月	
2011	U7 Interview FILE85	Vol.42，2011年12月，pp.22-31	
2012	巨大化する自然災害（地震・津波）にこれから建築はどう立ち向かうか	コンクリート工学，第50巻，2012年1月，pp.97-100	保木和明
2012	Mahin, S. A. : ジョセフ・ペンツェン先生のご逝去を悼む	建築雑誌，2012年2月，p.85	
2012	レジリエント・ソサイエティー - 日が新日本大震災を踏まえて	建築雑誌，日本建築学会，2012年3月，pp.12-17	隈研吾・佐土原聡・藤井聡・布野修司
2012	ヘルムート・クラヴェインクラール先生のご逝去を悼む	日本地震工学会誌，No.17，日本地震工学会，2012年9月，pp.72-73	
2012	構造委員会活動報告 構造委員会のあゆみ - 2011年度	建築雑誌，127巻，1638号，2012年9月，pp.20-21	
2012	震災から一年を振り返って	建築雑誌，127巻，1638号，2012年9月，pp.7-12	北原武司・腰原幹雄・平石久廣・布野修司
2012	構造委員会活動報告 構造委員会のあゆみ - 2012年度	建築雑誌，128巻，1649号，2013年9月，pp.22-23	
2013	建築の原点に立ち返る - 暮らしの場の再生と革新 - 東日本大震災に鑑みて（第二次提言）	建築雑誌，第128巻，No.1650，日本建築学会，2013年10月，pp.52-65	

発表年	論文名	発表誌名	共著者
2013	想定外地震に対する備え - 2011年東北大震災の教訓を経て	けいさつの友, 2013年11月, pp.9-12	
2013	南海トラフ地震を想定した長周期地震動による鉄骨造建物のE - ディフェンス振動台実験	日本地震工学会誌, 第22号, 2014年6月, pp.17-22	高橋元美・小鹿紀英
2014	兵庫県南部地震における鉄骨造建物被害を顧みて	建築防災, 2014年12月, pp.20-25	多田元英
2015	レジリエントな社会に向けて - 防災・減災研究のこれから	日本建築総合試験所機関誌 (GBRC), 2015年1月, pp.15-24	
2015	レジリエントな防災・減災機能の強化の概要と研究開発項目	日本鋼構造協会誌, No.20, 2015年2月, p.13-15	
2015	座談会: レジリエントな経済社会の構築に向けて	月刊経団連, 2015年4月, pp.12-25	川合正矩・橋本孝之・本田茂樹
2015	建物の安全確保, 機能維持, そして快適な生活空間 - 兵庫県南部地震から20年 -	21世紀ひょうご, Vol.18, 2015年5月, pp.14-26	長江拓也
2015	レジリエントな防災・減災機能の強化に向けて	RMFOCUS (インターリスク総研), 54号, 2015年7月, pp.1-8	
2015	会長就任の挨拶 - 建築としての声をひとつに	建築雑誌, 第130巻, 1672号, 2015年6月, p.2-3	
2015	20年間を振り返って	地震調査研究推進本部20年資料集, pp.141.144	
2015	この人に聞く	RE, 建築保全センター, No.188, 2015年10月, pp.2-3	
2016	年頭所感, 建築と建築学会の持続的発展をめざして - 建築としての声をひとつに	建築雑誌, 第131号, 1679号, 2016年1月, pp.2-3	
2016	建築論壇 - 建築の社会性と建築家の役割	新建築, 2016年3月, pp.47-51	六鹿正治
2016	学会のこれまでとこれから - 建築のニューフロンティアを開拓する	建築雑誌, 第131巻, 1683号, 2016年4月, pp.6-11	村上周三